

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	1,727,622	1,033,941	693,681

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 パスモ2019年度施策	404,735

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

毎年、ICカード「PASMO」の機能改善を他事業者と統一してシステム改善を行っています。

【内容】

パスモではお客様の利便性向上として、PASMOの利用範囲拡大やサービス向上に取り組んでおり、2019年度は以下の項目について対応する予定をしております。

これに伴って本市で設置しているパスモ対応機器のソフトウェア改造作業を行います。

施策項目	内容
運賃改定	定期券発売金額を変更する。 (券売機、定期券発行機)
ICカードシステム への新規参入	新規にバス事業者が追加となるため、履歴印字・表示処理の変更を行う。 (券売機、窓口処理機、定期券発行機)
新線・新駅開業、 駅名・社名変更	新線・新駅開業、駅名・社名変更のため画面表示・履歴印字・定期券発売範囲の変更をする。 (券売機、窓口処理機、定期券発行機)

【作業完了予定】

平成32年3月

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	250,076	404,735				654,811
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額																					
2 消費税10%対応	285,888																					
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p>【事業目的】 消費税率の引き上げがある場合、地下鉄運賃について適正な消費税を転嫁する必要があります。</p> <p>【内容】 消費税率改定がある場合、普通乗車券の上限金額を変更し、運賃改定を行うことが想定されます。 また、定期券運賃、各種回数券、1日乗車券などの算出方法についてもあわせて改定を行う可能性があることから、これらについて駅務機器のシステム改修等を行います。</p> <p>【作業完了予定】 平成31年9月</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>(6 年次表)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度予算</th> <th>31年度予算</th> <th>32年度予定</th> <th>33年度予定</th> <th>34年度以降</th> <th>総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>0</td> <td>285,888</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>285,888</td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td>285,452</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>285,452</td> </tr> </tbody> </table>			30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額	事業費	0	285,888				285,888	債務負担設定	285,452					285,452
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額																
事業費	0	285,888				285,888																
債務負担設定	285,452					285,452																

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額					
3 クレジット取引セキュリティ対策	154,247					
(1 事業目的・内容)						
【事業目的】 クレジット決済端末の「100%IC対応」の実現により、セキュリティ向上を図ります。						
【内容】 券売機、定期券発行機において、定期券のクレジットカード発売を行っているため、「クレジット取引セキュリティ対策」をする必要があるため実施します。 ①カード情報保護(カード情報を盗らせない) ・処理端末におけるカード情報の「非保持化」 ②カード及び決済端末のIC対応化(偽造カードを使わせない) ・クレジットカード決済端末における「100%IC対応」の実現						
【作業完了予定】 平成32年3月						
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) 割賦販売法の一部を改正する法律(平成28年12月9日公布)						
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)					
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
(6 年次表)						
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		154,247				154,247
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
4 自動出改札装置更新作業委託	575,257

(1) 事業目的・内容

【事業目的】

- ・お客様の利用快適性向上(幅広、改札通過方向など)
- ・PASMOセキュリティの向上

【内容】

PASMO導入後10年を迎え、機器の老朽化が進むとともに、(株)パスモから「セキュリティ向上施策の実施」が義務づけられております。

現在使用している改札機226台を、設置台数を見直すとともに一括更新を行います。

【設備台数】

平成28年12月末現在

機種	IC磁気併用 (幅広)	IC専用	IC磁気併用	計
ブルーライン	6	34	146	186
グリーンライン	8	12	18	38
模擬環境	0	0	2	2
合計	14	46	166	226

【更新計画】

機種	IC磁気併用 (幅広)	IC専用	IC磁気併用	計
ブルーライン	38	67	82	187
グリーンライン	8	12	17	37
模擬環境	0	0	2	2
合計	46	79	101	226

更新年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	計
更新台数	0	135	91	226

【設置台数の見直し】

- ・湘南台は利用人員増加に伴い1台追加
- ・川和町は利用人員が増加していないため1台削減

【機能改善内容】

- ・全改札口への幅広型改札機(通路幅900mm)の設置
- ・IC専用改札機の増大によるイニシャル、ランニングコストの削減
- ・お客様流動状態を考慮した改札機の設置

【機器更新完了予定】

平成31年9月

(2) 前年度から変更・見直した点

- ・改札機レイアウトによる機種の見直し
- ・設置作業年度計画に変更

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4) 除却資産の有無)

- 有
□ 無

(5) 補助対象の有無)

- 有
■ 無

(6) 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費	509,462	575,257				1,084,719
債務負担設定						975,600

*平成29年度債務負担設定済

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
5 精算機更新作業	

(1) 事業目的・内容

【事業目的】

- ・お客様の接客性向上
- ・硬貨誤装填防止機能の追加
- ・PASMOモジュールの搭載
- ・PASMOセキュリティの向上

【内容】

PASMO導入後10年を迎え、機器の老朽化が進むとともに、(株)パスモから対応期限(H32.3)までに「全駅務機器への機器改修コストの抑制を行うPASMOモジュールの搭載」と「セキュリティ向上施策(通信データの暗号化や認証、サイバネ認証取得機器の使用)の実施」が義務づけられております。

旧型の精算機21台は上記の対応ができないため、一括更新を行います。

【設備台数】

平成30年4月末現在

機種	旧型精算機 (更新対象)	新型精算機	計
ブルーライン	13	26	39
グリーンライン	8	0	8
模擬環境	0	1	1
合計	21	27	48

【更新対象機器設置年度】

更新年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	計
更新台数	8			1	12	21
設置場所	GL			横浜	主要駅	

【機器更新完了予定】

平成31年9月

(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4) 除却資産の有無)

- 有
 無

(5) 補助対象の有無)

- 有
 無

(6) 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
6 後方システムサーバ更新	11,778

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

- ・機器障害時対応
- ・現行機能維持

【内容】

後方業務支援システムは、各駅・駅務管理所・乗務管理所・電気区・総合司令所などで使用されている「駅務管理システム・運輸業務支援システム・施設管理システム」等のシステムを総称した名称で、地下鉄現業所属の職員の事務作業の効率化を目的に導入されております。

後方システムサーバは平成25年に機器更新しており、更新後5年を経過し、保守対応期間が終了します。

「機器故障時には修理」や「お客様への問い合わせ対応」ができないことから、後方システムサーバの更新を行います。

【システム詳細】

・運輸業務支援システム

乗務員仕業、乗務員勤務予定、所定労働時間算出、運転概況日報、運転統計帳票の作成及び乗務員出退勤状況、出場時刻の表示を行っております。

・駅務管理システム(遺失物管理システム)

遺失物の管理、駅事務室、案内所で発売した乗車券の売上管理、駅名キーホルダー等物品の在庫、発売管理、乗車券紙や備用品類の在庫管理、車椅子や補助犬での利用者数集計等を行っております。

・施設管理システム

年間作業予定、実績の作成・管理、月間作業予定、実績の作成・管理、点呼表、日報の作成・管理、作業記録簿類の作成・管理等を行っております。

【機器更新完了予定】

平成32年3月

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		11,778				11,778
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
7 改札機IC処理ソフトウェア利用許諾契約に基づく個別改訂版ソフトウェアの支払契約	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

自動改札機でのPASMO、Suicaの利用環境の維持

【内容】

首都圏でのICカードの相互利用サービスに必要となる自動改札機のソフトウェアに対し毎年行う改修について、機器台数分の利用許諾料を支出します。

【機器設置台数】

自動改札機 224台(模擬環境用の2台除く)

(2 前年度から変更・見直した点)

・PASMO年度施策の推進

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	22,731					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
8 多目的デジタル案内板のソフト改修作業委託	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

- ・お客様の利便性向上
- ・お客様への情報提供
- ・駅係員の案内業務軽減

【内容】

多目的デジタル案内板は、市営交通の運行状況などをお客様にわかりやすく伝達する機器(デジタルサイネージ)です。平成31年度は、さらにお客様へのわかりやすい情報内容を追加します。

<現在の画面>

- ・自社線の運行情報
- ・他社線の運行情報
- ・地下鉄広報
- ・防災情報

<自社線の運行情報>



<地下鉄広報>



<追加情報>

- ・運行情報履歴表示
- ・駅個別の情報表示
- ・運転見合わせ
遅延時の表示方法の変更



<他社線の運行情報>

【機器設置台数】

多目的デジタル案内板 51台

平成28年度設置

駅名	設置台数
1 横浜	4
2 新横浜	2
3 桜木町	1
計	7

平成29年度設置

駅名	設置台数
1 戸塚	2
2 あざみ野	1
3 日吉	1
4 上大岡	2
5 センター南	1
6 センター北	1
7 湘南台	1
8 上永谷	1
9 仲町台	1
10 中山	1
11 蒔田	2
12 立場	1
13 片倉町	1
14 新羽	1
15 踊場	1
16 伊勢佐木長者町	1
追加 横浜	1
駅外 司令所	1
計	21

平成30年度設置

駅名	設置台数
1 北山田	1
2 都筑ふれあいの丘	1
3 弘明寺	1
4 阪東橋	1
5 中川	1
6 港南中央	1
7 中田	1
8 三ツ沢上町	1
9 吉野町	1
10 高田	1
11 日吉本町	1
12 北新横浜	1
13 三ツ沢下町	2
14 岸根公園	1
15 下永谷	1
16 東山田	1
17 高島町	1
18 川和町	1
19 下飯田	1
20 舞岡	1
21 関内	2
計	23

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	26,381					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
9 AVR更新に伴う電気設備工事	

(1 事業目的・内容)
機器設置から約30年が経過したAVR(センター北駅・センター南駅)を更新するための電気設備工事をおこないます。(電気課依頼予定)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
10 事務改善システム仕様変更業務委託	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】

平成28年度に更新した人事管理、給与管理、勤務実績管理、旅費管理、財務会計システムについて、法、制度改正に対応します。その他、業務改善に向けた要望に応えます。

【内容】

法、制度改正があった場合、システムを対応させるために改修を実施します。
その他、運用部署から要望があった場合、改修します。

人事給与勤務実績システムの仕様変更

制度変更等に伴う人事課からの改修、改善要望に対応します。

- ・三六協定内容に応じて柔軟に対応できるチェック時間の変数化
- ・疾病名、産業医面談記録、休職情報の登録機能等、健康管理機能の強化
- ・病気休暇取得状況チェック機能の強化
- ・遅刻・早退や職免による減給に対応できる時間単位の勤怠管理機能の強化
- ・配偶者特別控除等の制度改正に伴う書式の変更
- ・その他、共済負担金計算の自動化、通勤手当支給機能の改善

(2 前年度から変更・見直した点)

人事給与の制度変更が多く発生し、30年度中にすべての作業を終了させることができなかったことから、31年度においても引き続き制度変更に対応するための改修を実施

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費	28,272					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額					
11 新庁舎ネットワーク構築						
(1 事業目的・内容)						
<p>【事業目的】 新市庁舎への移転後、継続して業務を行えるようにネットワークを構築します。 市長部局で、横浜市ネットワークの無線LAN化が実施されることに併せて、交通局のネットワークを無線LAN化します。</p> <p>【内容】 新庁舎交通局フロア内の無線・有線LANの設備構築を行います。 ケーブルの敷設、機器の設置などを実施します。 平成32年に予定されている新市庁舎の完成とともに、YCANネットワークを敷設します。また、事務用パソコンでの無線LANが解禁されるので、無線LAN環境を構築します。</p>						
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 除却資産の有無)						
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
(5 補助対象の有無)						
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
(6 年次表)						
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額					
12 OA端末購入						
(1 事業目的・内容)						
【事業目的】 平成27年度に導入し、責任職が利用中のタブレットパソコンについて、老朽化に対応します。						
【内容】 タブレットパソコンを調達します。						
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)					
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					
(6 年次表)						
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額					
13 タブレット用システム開発						
(1 事業目的・内容)						
【事業目的】 高速鉄道本部で利用中の地下鉄運行ポータルについて、現場からの改修要望に応えます。						
【内容】 業務用タブレットシステムの機能強化及び改善 高速鉄道本部に導入した地下鉄運行ポータルについて利便性向上のため、機能の追加、改善します。 <ul style="list-style-type: none"> ・連絡機能における定型文の登録、修正機能の追加による操作の簡略化 ・車椅子電動・手動、介助者情報等、情報の追加及び入力の手軽化による連絡機能の強化 ・団体乗車における複数号車乗車位置の登録など連絡内容の拡充 ・自駅中心の在線表示機能及び小さな画面でも見やすい在線表示の改善 ・機能等動作確認ができるテスト系の構築若しくはサーバー障害時に対応できるシステムの冗長化 						
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 除却資産の有無)						
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
(5 補助対象の有無)						
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
(6 年次表)						
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費	7,920					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：総務課 担当者名：今井、田中、西川、小松、松本

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
14 経路・時刻表システムの改修	

(1 事業目的・内容)

【事業目的】
経路・時刻表検索システムは、市営バス・地下鉄の経路・時刻表の検索、バスの接近情報をウェブ上で表示するためのシステムです。

【内容】
経路・時刻表検索システムをお客さまによりご活用いただけるよう改修を加えます。
具体的には、スマートフォンでのバス停検索の簡略化や、オリンピック・パラリンピックでの外国からのお客さまがご利用いただけるよう多言語での表示を可能とします。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)

有 有
 無 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：経営企画課 担当者名：大辻、中川

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		1,000	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 自主企画事業支援制度	900

(1 事業目的・内容)

現場職員の声を事業に活かすため、職員の提案したアイデアをもとに、提案した職場に予算を割り当て、その職場が主体となって事業を実施する制度です。なお、「職員提案制度」及び「自主企画事業支援制度」を統合し、新たな職員提案制度の構築を計画しております。

<p>【参考】平成29年度の実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川和保守管理所内にデジタルサイネージの設置(川和保守管理所) ・定期乗車券購入者へのサービス向上(センター北管区駅) ・3社合同「子供向けカード」の作成(新横浜駅) ・復唱スピーカーの設置(横浜駅) ・簡易型提出箱の設置(鶴見営業所) ・公営企業としての沿線地域貢献と路線沿線の美化(若葉台営業所) ・若葉台営業所事務所フリーアドレスの導入(若葉台営業所)
--

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	1,000	900				1,900
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：経営企画課 担当者名：大辻、中川

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
2 固定資産管理システムデータベース管理ソフトウェア更新	
<p>(1 事業目的・内容) Windows7のサポート終了に伴い、平成31年度に固定資産管理システム導入端末を、Windows10の端末に入れ替えます。 OSが変更されるにあたって、固定資産管理システムデータベース管理ソフトウェア「Oracle Database Standard Edition One」をWindows10に対応した「Oracle Database Standard Edition 2」に更新します。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 </p>	

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：人事課 担当者名：山口

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予算額	432	0	432

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
1 うがい器更新	432
(1 事業目的・内容)	
<p>以下の事業所のうがい器については、耐用年数(5~7年)以上経過した機械を使用しているため、性能が低下している上に職員数の多い事業所ということで使用頻度が高く、インフルエンザや風邪などが流行する時期に使用できなくなる可能性があります。現在設置している同型大容量タイプのうがい器に更新し、病気の予防・拡散防止など衛生管理一貫として機器の購入を進めていきます。</p> <p>上永谷乗務管理所(平成18年設置) 新羽乗務管理所(平成15年設置) 川和乗務管理所(平成11年設置) 新羽保守管理所(平成18年設置)</p>	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)
<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：能力開発センター 担当者名：戸田、岩岡、坂井

(単位：千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予算額		0	

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
1 地下鉄車両主回路表示装置更新事業	46,800

(1 事業目的・内容)

【地下鉄車両主回路表示装置更新】

現在能力開発センター教材室に設置されている回路表示教材は、動力車操縦者運転免許に関する省令に基づき、教材として国土交通省関東運輸局へ届け出ていますが、老朽化による故障、不具合等が発生しており、次回の動力車操縦者養成所監査の際に指摘を受ける恐れがあります。

しかし、修理を行うための交換部品の中にはすでに製造中止のものが多数あり、新たに設計して修理を行うには相当な費用が必要となります。

また、現在の回路表示教材のうち、「主回路表示盤」「ブレーキ動作表示盤」はすでに廃車となった1000形車両を基本としたものであり、他の形式の制御回路やブレーキ回路には対応できません。

以上の理由から、鉄道運転士として必要な車両に関する知識をより効果的に学ぶことができるよう、回路表示教材を現在の機械式のものから、様々な制御回路やブレーキ回路をCGで再現し、パソコン上で学べる動画教材に更新します。

(2 前年度から変更・見直した点)

除却資産1991-20-00130（その他機械）、1991-20-00131（その他機械）、1991-20-00132（その他機械）、1992-20-00165（教材用チョッパ制御動作表示装置）は、更新事業の予算に充て、既存の教材の廃棄については、別途、計画します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費	0	46,800				46,800
債務負担設定	46,800					46,800

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：事業開発課 担当者名：石黒、田中、大谷、瀬谷、柴田、田中、斎藤

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予算額	69,803	15,780	54,023

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額																					
<p>1 トンネル設備保全のための地上権取得費</p> <p>(1 事業目的・内容)</p> <p>高速鉄道事業会計が保有する地下鉄トンネル設備の保全のため、地上権設定が新たに必要となる土地の所有者に対し補償金を支払い権利を設定します。 具体的には国有地等、地下鉄建設時には地上権を設定してない土地について払い下げが発生した場合、その土地購入者と新たに地上権設定契約を締結し、高速鉄道事業施設所有のため補償金を支払い、地上権設定登記を法務局で行う必要があります。 地上権が設定された土地においては、今後、建物、その他工作物を築造する場合、あらかじめ設計工法等について当局と協議をすることを条件とできるほか、また地下のトンネル等に地上から加わる荷重を制限することができます。 例年2件程度、地上権の取得が必要な案件が発生しており、31年度についても2か所において地上権取得を見込みます。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>(6 年次表)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度予算</th> <th>31年度予算</th> <th>32年度予定</th> <th>33年度予定</th> <th>34年度以降</th> <th>総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: center;">6,000</td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> </tr> </tbody> </table>		30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額	事業費	6,000						債務負担設定							
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額																
事業費	6,000																					
債務負担設定																						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：事業開発課 担当者名：石黒、田中、大谷、瀬谷、柴田、田中、斎藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額																					
2 広告管理システム改修																						
(1 事業目的・内容) 媒体管理機能改善 広告管理システムについて、長期申込への受付機能追加等を実施することで、事務改善を図ります。																						
(2 前年度から変更・見直した点)																						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)																						
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)																					
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無																					
(6 年次表)																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度予算</th> <th>31年度予算</th> <th>32年度予定</th> <th>33年度予定</th> <th>34年度以降</th> <th>総 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: right;">2,700</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額	事業費	2,700						債務負担設定							
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額																
事業費	2,700																					
債務負担設定																						

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額																					
3 新羽車両基地事務所内エレベーター等既存遡及対応																						
(1 事業目的・内容) 新羽車両基地の有効活用のため、平成29年度から平成30年度にかけて、建築基準法に係る既存遡及内容の調査・設計を完了し、平成31年度に昇降機設備(既存エレベーター2台)の遡及工事を行うものである。 (耐震化対応のための部品交換や遮煙ドアの追加を行います) ・EV1号機 検車庫棟 1F～2F設置 油圧式 荷物用 4,000kg (H7年設置) ・EV2号機 保守区棟 1F～3F設置 ロープ式 車いす兼用 750kg (H7年設置)																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施設計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">設計委託</td> <td></td> </tr> <tr> <td>施工予定</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">工事実施</td> </tr> </tbody> </table>	年度	29年度	30年度	31年度	実施設計		設計委託		施工予定			工事実施										
年度	29年度	30年度	31年度																			
実施設計		設計委託																				
施工予定			工事実施																			
(2 前年度から変更・見直した点)																						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)																						
(4 除却資産の有無)	(5 補助対象の有無)																					
<input checked="" type="checkbox"/> 有 資産番号 1995-20-00334 <input type="checkbox"/> 無 1995-20-00339	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無																					
(6 年次表)																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度予算</th> <th>31年度予算</th> <th>32年度予定</th> <th>33年度予定</th> <th>34年度以降</th> <th>総 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: right;">3,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額	事業費	3,000						債務負担設定							
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額																
事業費	3,000																					
債務負担設定																						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：営業課(高速) 担当者名：筒井、大岡

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		826	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 IP無線機の配備	

(1 事業目的・内容)

緊急時及び平時における駅職員間の情報伝達を円滑に行うためIP無線機を配備する。

◇配備実績・計画

単位:台

年度	配備先	基地局	無線機
24	横浜駅	1	8
25	新横浜駅	1	9
26	—	—	—
27	—	—	—
28	関内駅、センター南駅、あざみ野駅	3	24
29	センター北駅、上大岡駅、戸塚駅	—	24
30	横浜駅、新横浜駅(更新)	—	16
31	横浜駅、新横浜駅(更新)	—	

※24～28年度はデジタル簡易無線機配備
※29年度よりIP無線機配備

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

設置要望があった駅には無線機配置完了。
駅務管理所よりデジタル簡易無線機をIP無線機に変更する要望有。
無線機の劣化状況等を考慮しながら更新時期を検討する。

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	826					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：運転課 担当者名：吉田

(単位：千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予算額		14,500	

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額																					
1 新羽車両基地列車確認カメラ設置																						
<p>(1 事業目的・内容) 新羽車両基地は上永谷車両基地と違い信号扱所から留置線等が見えず、車両の入出区、入換等の動線が確認できません。本線運転士による構内運転担当が始まり、専属の構内運転担当ではなくなりました。基地内の列車状況を把握し、安全性向上のため補助設備として基地留置線等の主要箇所列車確認カメラ8台の設置と信号扱所にモニタの設置を要求します。</p>																						
<p>(2 前年度から変更・見直した点) 新規事業のため、無し</p>																						
<p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p>																						
<p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>																						
<p>(6 年次表)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>30年度予算</th> <th>31年度予算</th> <th>32年度予定</th> <th>33年度予定</th> <th>34年度以降</th> <th>総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額	事業費							債務負担設定						
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額																
事業費																						
債務負担設定																						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位：千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予算額	2,964,910	1,504,731	1,460,179

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
1 3000S形台車装置改良	62,519

(1 事業目的・内容)

3000S形台車は、1984年に2000形用に製造されたのち3000S形に載せ替えられたもので、製造後約35年間使用しております。今後、車両寿命まで約30年以上使用するための性能を維持するため必要な部品を交換し機能の回復を図ります。

また、運転方法が手動運転から自動運転化になり速度を調整することが多くなった事でブレーキを頻繁に動作させます。台車装置に取り付いているブレーキ機構は、当局には2種類ありますが本形式のみ採用しているブレーキ機構は、ブレーキシューに段差が出来てしまう事象が見られるためブレーキ機構の部品を改良・更新し対策を図ります。

平成31年度に、6編成施工予定です。これにより、既に改良済みの2編成と合わせて、3000S形全8編成の改良が完了します。

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

なし

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費		62,519				62,519
債務負担設定	62,519					62,519

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
2 3000S形車両電気機器更新	1,555,238

(1 事業目的・内容)

3000S形車両は製造から12年以上が経過しており、主要装置に使われている電子部品等の経年劣化が生じる時期に来ていることから、装置の更新により、車両走行の安全性を維持します。

【更新計画】

平成31年度の重要部・全般検査の入場工程に合わせて、下記①～⑤の装置の更新を行います。
ただし、30000S形車両全8編成の内、この工程から外れる1編成は、先行して平成30年度末に更新します。

<2か年契約の2年目>

項目	30年度	31年度	合計
数 量	1編成	7編成	8編成
金 額	196,613	1,555,238	1,751,851

【更新機器】

- ①VVVF制御装置
- ②ブレーキ装置
- ③空調装置
- ④YTM装置(YTM地上装置の3台増備含む)
- ⑤ATC装置

【業務区分】

大きく分けて、機器の製造と機器の脱着(取付け・取外し)業務があります。また、①VVVF制御装置については、インバータ装置の軽量化に伴い、車体の重心が変化するため、輪重バランスの検討が必要です。

(2 前年度から変更・見直した点)

平成31年度の脱着業務委託は、前年度は8編成分を平成30年度契約の債務負担を予定していましたが、この内1編成分を平成30年度契約とし、7編成分を平成31年度契約に変更しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～平成40年度)
現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	196,613	1,555,238				1,751,851
債務負担設定	1,707,288					1,707,288

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
3 3000R形VVVF制御装置更新	560,880

(1 事業目的・内容)

VVVF制御装置は、電車に搭載したモータを制御するもので、電車の走行及び減速には必要不可欠な装置です。
3000R形車両のVVVF制御装置は、平成16年の製造から11年を経過しています。3000R型と同様のVVVF制御装置を搭載している3000N形では、製造後10年を経過したあたりから経年劣化によるVVVF制御装置の故障が増加しました。そこで、故障を予防するために、装置内部に搭載された電子回路や遮断器等の更新を行います。
また、本更新時には装置の重要な構成部品であるパワーデバイスを従来のシリコン製からシリコンカーバイド(SiC)製のものに変更します。これはシリコン製デバイスの生産終了によるものですが、SiC素子は省エネルギー性に優れているため、従来より消費電力を低減させることが可能です。本事業は省エネの効果があるため、条件が整えばエコレールラインプロジェクトにも応募する方針です。
この改良実施により、故障抑止に効果があり、3000N形と比較して故障発生が減少すると考えます。また、車両の消費電力も低減すると考えます。

更新計画<4か年契約の3年目>

項目	29年度	30年度	31年度	合計
数 量	3編成	5編成	6編成	14編成
税抜金額	294,807	429,112	519,334	1,243,253
税	8%	8%	8%	-
	23,584	34,328	41,546	-
金 額	318,391	463,440	560,880	1,342,711

※29年度は28年度繰り越しを充当

(工程概要)

平成28年度 契約(交換する装置の製造に約1年必要)
平成29年度 3編成の更新
平成30年度 5編成の更新
平成31年度 6編成の更新

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～平成40年度)

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	461,912	560,880				1,022,792
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
4 3000NRS形ATO装置更新	68,855

(1 事業目的・内容)

ATO装置は、出発から駅間走行、車両停止までの走行制御を自動的に行う、ワンマン運転をサポートする装置です。検知した地点情報から力行指令、ブレーキ指令を列車制御管理装置(YTM装置)経由で制御装置とブレーキ装置に伝達します。

3000N形車両、3000R形車両、3000S形車両に搭載されているATO装置は、いずれも導入から10年以上経過しており、故障件数が増加していることから、装置の更新により、車両走行の安全性を維持します。

【更新計画】

平成30年度からの3か年計画です。この間に、重要部・全般検査の入場期間にあたる編成は、その期間に合わせて更新し、入場期間から外れる編成については、車両をとめて更新します。

<3か年契約の2年目>

項目	30年度	31年度	32年度	合計
数 量	1編成	14編成	14編成	29編成
税抜金額	4,571	63,755	81,817	150,143
税	8%	8%	8%	-
	366	5,100	6,545	-
金 額	4,937	68,855	88,362	162,154
N形		2編成	5編成	
R形		5編成	9編成	
S形	1編成	7編成		

【業務区分】

大きく分けて、機器の製造と機器の脱着(取付け・取外し)業務があります。

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	4,937	68,855	88,362			162,154
債務負担設定	171,535					171,535

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

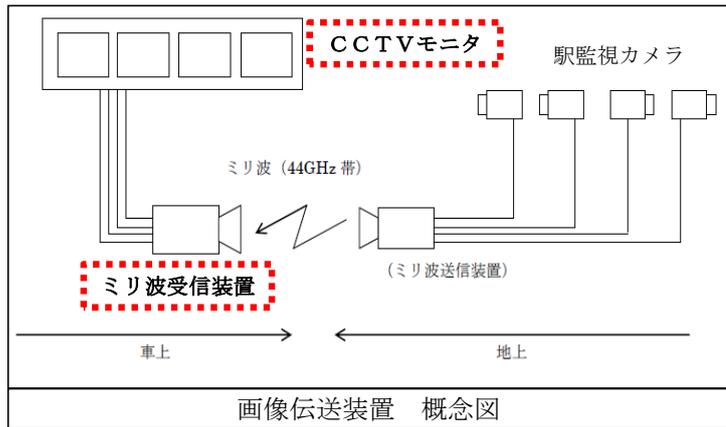
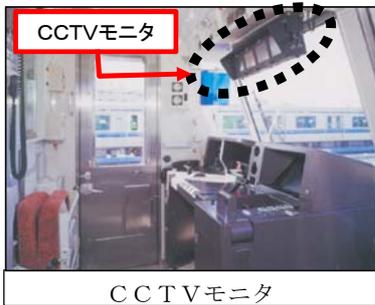
【 事 業 内 容 】	31年度予算額
5 3000NRS形画像伝送装置モニタ更新	35,154

(1 事業目的・内容)

画像伝送装置は、運転士の扉開閉操作に際して、乗降客の安全を確保するため、ホーム画像を乗務員室に設置されたCCTVモニタに表示するシステムです。乗務員の扉開閉操作時における安全確認のために常に安定した性能・動作を求められる重要なシステムです。画像伝送装置を導入してから約10年が経過し、電子機器部品の劣化が進行する時期となったため改修するものです。
※製造メーカーの推奨交換周期(CCTVモニタ:6年)
本更新については、3000形のN形、R形、S形(全29編成)について改修いたします。

<作業計画>

平成30年度 契約、2編成の更新(予備品)
平成31年度 14編成の更新
平成32年度 14編成の更新



(2 前年度から変更・見直した点)

予算件名を平成30年度の「画像伝送装置の更新」から「3000NRS形画像伝送装置モニタ更新」に変更しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	20,700	35,154	29,353			85,207
債務負担設定	50,328					50,328

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
6 主幹制御器ほか改修	6,837

(1 事業目的・内容)

主幹制御器改修(マスコンハンドル形状と握り強さ変更)

マスコンハンドルに実装されているデッドマン装置は、列車運転中に運転士の意識喪失などの異常事態が発生した場合に、自動的に列車を停止させる運転保安装置です。これは、列車走行中は、運転士は常時レバーを握っている必要があります。

3000V形1次車の導入に際して、モックアップ等を実施して、形状と握り強さを決定して導入しました。しかし、ブルーラインの走行距離が長いことや、女性乗務員が増えたこと等により、握っていることが困難であると運転部門から意見がありました。このため、安全運行の観点から、3000V形1次車とR形の改修を実施します。



更新計画<3か年契約の2年目>

項目	29年度	30年度	31年度	合計
主幹制御器改修(R形)		5編成	10編成	15編成
主幹制御器改修(V形)		2編成		2編成

※予備品含む

(2 前年度から変更・見直した点)
なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	6,917	6,837				13,754
債務負担設定						0

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
7 10000形1次車列車無線スプリアス対策ほか	42,582

(1 事業目的・内容)

列車無線装置は乗務員室に搭載されており、車両、司令所間の連絡や非常発報等の機能を備える重要な保安通信設備です。車両のアンテナから送信される電波には列車無線としての機能を果たすうえで不要な周波数成分(スプリアス)が含まれます。これは、電波障害の原因となるため、無線設備規則で許容値が定められています。

しかし、平成17年に無線設備規則が改正され、10000形1次車に搭載されている旧規格値の列車無線装置は、平成34年11月30日をもって使用できなくなります。(2次車は対応済みです。)

10000形1次車の列車無線装置を新スプリアス規格に対応させるため、当該部品の改修が必要となります。

また、1次車の列車無線装置は平成30年で製造から10年以上が経過し電子部品の劣化が進行しています。平成30年度から機器のオーバーホールを実施するとメーカーの推奨する交換周期(最長15年)以内に全15編成の更新が終了することから、機器のオーバーホールも合わせて実施し、コスト削減と故障のリスクの低減を図ります。

更新計画<5か年契約の2年目>

項目	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	合計
数 量	3編成	4編成	4編成	4編成	0編成	15編成
改修費	22,320	38,784	25,248	25,248	400	112,000
脱着費	8,063	643	—	—	—	8,706
消費税	8%	8%	8%	8%	8%	8%
	2,431	3,155	2,020	2,020	32	
合 計	32,814	42,582	27,268	27,268	432	130,363
備 考		予備品含む			免許更新のみ	

(2 前年度から変更・見直した点)

年度	前年度要求内容	変更理由	変更理由
平成30年度	3編成+予備品	3編成	10000形検査周期延伸と6両化の工程を考慮
平成31年度	5編成	4編成+予備品	
平成32年度	4編成	4編成	し、年度ごとの実施数量を変更
平成33年度	2編成	4編成	しました。
平成34年度	1編成	0編成	

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・無線設備規則 第7条

(4 除却資産の有無)

 有
 無

(5 補助対象の有無)

 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	32,814	42,582	27,268	27,268	432	130,363
債務負担設定	148,542					148,542

平成31年度 建設改良費 事業計画書

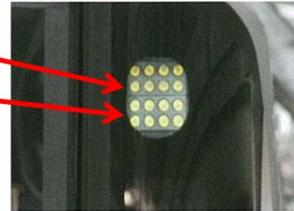
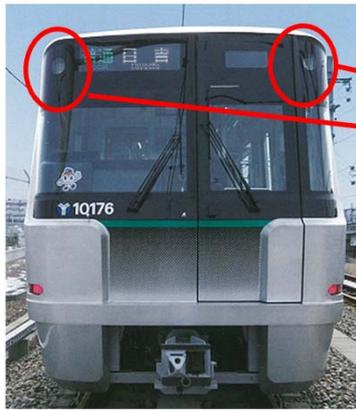
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
8 10000形1次車前照灯LED化	24,246

(1 事業目的・内容)

前照灯は、車両の位置や進行方向を表す標識としての役割から、運転中は常時点灯している重要な装置です。
10000形1次車の前照灯にはHIDを使用していますが、このHIDや内部の制御装置を製造していた会社が倒産し新規の製造が行われていないため修繕部品を入手することが困難となっており、車体メーカー(川崎重工業)から今後の修繕は困難であると回答を受けています。修繕が不可能になる前に他社製品で置き換える必要があります。また、前照灯自体もHIDから消費電力が少なく長寿命のLEDに置き換えることで運行費用やCO2の削減を図ります。



車体メーカー(川崎重工業)より供給されているLED前照灯

10000形2次車(2次車の前照灯は新造時からLED)

(2 前年度から変更・見直した点)

平成30年6月の入札が不調になりました。再入札手続きにかかる時間を考慮すると、平成30年度内に施工を予定していた5編成分を完了させる見通しが立たなくなったため、全ての数量を平成31年度に実施します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	10,780	24,246				35,026
債務負担設定	11,675					11,675

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
9 ブルーライン車外行先表示器改修	112,124

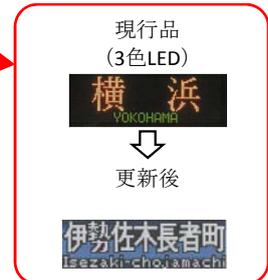
(1 事業目的・内容)

ブルーライン3000R/S形車両の車外表示器は、製造から11年以上が経過し、製造メーカーにおいて製造終了となったことから、部品の枯渇により今後修理対応も難しくなることが判明しました。正面表示器が故障した場合、車両の運行ができなくなるため、営業に大きな影響を及ぼします。
そこで、3000V形と同様のフルカラーLEDによる表示器に更新し、故障を予防します。
また、カラーユニバーサルデザイン認証を取得し、より多くのお客様が確認しやすい表示となります。

正面運行案内表示器



側面行先表示器



更新計画

	平成30年度	平成31年度	合計
3000R形	6編成	8編成	14編成
3000S形	1編成	7編成	8編成
金額(千円)	56,040	103,818	159,169
税(8%)	4,483	8,305	12,733
税込金額	60,523	112,124	172,647

(2 前年度から変更・見直した点)

金額を契約金額に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	60,523	112,124				172,647
債務負担設定	121,426					121,426

平成31年度 建設改良費 事業計画書

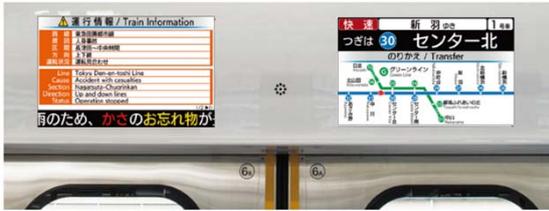
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
10 ブルーライン車内案内表示システム改修	375,568

(1 事業目的・内容)

- ・現行のブルーラインの車内案内表示は、他社線の運行情報は表示できておらず、お客様が情報を得るためには、お客様が所有されているインターネットツール(携帯情報端末等)または乗務員による車内放送から情報を得るしかない状況です。
 - ・この状況を改善し、お客様に迅速かつ正確に運行情報を提供するため、ブルーライン車両の車内案内表示システムの改修を実施します。
 - ・現行のLEDスクロール式を液晶式(2画面)として、お客様により分かりやすい情報提供が可能となるよう改修を実施します。(動画表示あり)
- 液晶画面には、お客様からご要望のある快速誤乗車防止の案内も表示します(既存車にも展開)。



車内表示器 表示イメージ(2画面/ドア)

	H29	H30	H31	H32	H33
3000R・S形 改修 (22編成)	6編成 施工済み	1編成 施工済み	7編成	6編成	2編成

- ※1 3000A形(8編成)はH32～H34に予定している車両更新にて実施
- ※2 3000N形(7編成)はH33年度以降に検討している車両更新にて実施

(2 前年度から変更・見直した点)

金額を契約金額に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～40年度)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	89,177	375,568	321,915	107,305		893,965
債務負担設定	804,788					804,788

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
12 3000NRS形運転台継電器盤更新	

(1 事業目的・内容)

車両の安全運行に欠かせない、運転台の継電器類(運転台継電器盤)について更新します。

【更新計画】

平成31～34年度の4か年で装置の更新を行います。

この4か年の中で、重要部・全般検査が予定されている編成については、入場工程内で更新します。

<4か年契約の1年目>

項目	31年度	32年度	33年度	34年度	合計
数 量	2編成	12編成	10編成	6編成	30編成
税抜金額					
税	10%	10%	10%	10%	-
金 額					

(更新対象車両:3000NRS形車両29編成+予備品1編成)

【更新機器】

①運転台継電器盤

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

ブルーライン車両改良投資計画(平成20年度～平成40年度)

現場の意見

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
13 10000形機器更新	

(1 事業目的・内容)

①劣化対策

10000形1次車は平成20年の竣工から10年が経過しており、各種搭載機器の劣化が進んでいます。近年電子部品の劣化による故障が頻発しているため、列車の安全運行のためには搭載機器の更新は必須となります。

②6両化準備対応

平成34年度からの10000形車両6両化において、増備する中間車両に搭載する機器の中には、現在車両に搭載されている機器と編成内で混在できない物があります。そのため、あらかじめ本事業で既存車の機器を、増備する予定の中間車と同一の物に更新しておく必要があります。

③バリアフリー対応

平成30年3月に、公共交通機関を利用する高齢者や障害者等の利便性、快適性に配慮する場合の施設、車両等の整備のあり方を示した

”公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン(バリアフリー整備ガイドライン)”が改訂されました。新しいガイドラインへの適合を始めとしたバリアフリー対応によるお客様満足度向上を目的として、電気品及び内装品の改修を行います。

④インバウンド対応

インバウンド対応として、車内案内表示器の表示内容のうち駅ナンバーや他社線記号の追加、英語表記の見直し等を見直します。

⑤更新計画<6ヶ年契約>

形式	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
1次車 更新機器1式		9編成	6編成			
2次車 ITVモニタ更新			1編成	1編成		
1次車 YTM9編成分後ろ倒し				2編成	3編成	4編成

⑥主な更新機器

- ・VVVF(主回路制御装置)
- ・SIV(補助電源装置)
- ・ATC(自動列車制御装置)
- ・ATO(自動列車運転装置)
- ・ブレーキ電気品
- ・YTM(列車制御管理装置)
- ・GTV(車内案内表示装置)
- ・車外案内表示装置
- ・ITV(対列車画像伝送装置)

(2 前年度から変更・見直した点)

新規

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

現場の要望

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

14 グリーンライン混雑緩和策(6両化)中間増備車の製造

(1 事業目的・内容)

グリーンラインは平成20年の開業以来、沿線の人口定着が進んでいることから乗車人口が年々増加しており、混雑率も増加しています。平成28年11月時点の調査では日吉本町～日吉間で最大163%の混雑率を記録しており、混雑率の緩和が喫緊の課題となっています。

今後の見通しとしても沿線人口は増加見込みであり、抜本的な混雑対策が無ければ利用者離れが進み、乗車人員の減少・減収につながります。また、利用者の通勤・通学の負担軽減はグリーンライン沿線地域が「住みたくなる街」として価値を高めることにつながります。緊急対策としては平成30年3月にダイヤ改正を行い、ラッシュ時の運用本数を増やしていますが、抜本的な対策には至っていません。

そこで、グリーンライン10000形車両の中間車を製造し、現在全て4両編成であるグリーンライン全17編成のうち、10編成を6両編成にします。

年度	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	合計
車両増備	基本設計	発注	車両設計	車両製造	3編成	3編成	4編成	10編成
					6両化	6両化	6両化	6両化

現状：4両編成



↓ 中間車製造

対策：6両編成化



(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成12年8月1日 運輸政策審議会答申第19号 Ⅲ 今後の鉄道整備の支援方策のあり方

・大都市圏における都市鉄道のすべての区間のそれぞれの混雑率を150%以内とする。ただし、東京圏については、当面、主要区間の平均混雑率を全体として150%以内とするともに、すべての区間のそれぞれの混雑率を180%以内とすることをめざす

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：車両課 担当者名：藪崎・柏

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
15 グリーンライン混雑緩和策(6両化)車両管理システム更新	

(1 事業目的・内容)

川和車両基地に設置してあります車両管理システムは、グリーンライン車両の検査計画の作成、検査データの収集、検査記録表の出力、車両図面のデータ管理等多岐にわたり使用しており、検修区日常業務及びグリーンラインの日々の運行に非常に重要な役割を果たしております。本システムは、グリーンライン開業時から使用しており、コンピュータ(サーバークライアント)システムで24時間稼働しているため、機器の劣化が進んでおり故障頻度も多くなっております。また、保守対応期間も平成32年までとなっており、これ以降は修理が不可能となります。さらにグリーンラインは6両化工事が決定しておりますので、本システムも6両化に対応するため改修が必要となります。そこで機器の更新時期とも重なりますので、本システムの全面更新を行います。



車両管理システム(川和検修区事務室)

(2 前年度から変更・見直した点)

新規案件

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

故障頻度の上昇による更新希望が現場から出ております。また、グリーンライン6両化に伴う改良が必須となります。

(4 除却資産の有無)

<input checked="" type="checkbox"/> 有	2007-20-01879	2007-20-01905
<input type="checkbox"/> 無	2007-20-01901	2007-20-02021
	2007-20-01902	2007-20-02022
	2007-20-01903	2007-20-02023
	2007-20-01904	2007-20-02024

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	2,696,053	3,218,393	△ 522,340

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 サードレール脱落防止対策	

(1 事業目的・内容)

サードレール(給電用レール)に脱落防止器具等を取付け、耐震対策を行います。

サードレールは、走行レールの横に位置し、電車へ電気を供給するためのレールの事です。サードレールは、碇子の上でレールの自重で支持されています。通常、列車の走行や、軽微な揺れでサードレールが碇子より脱落することは無いよう安全に設計されています。

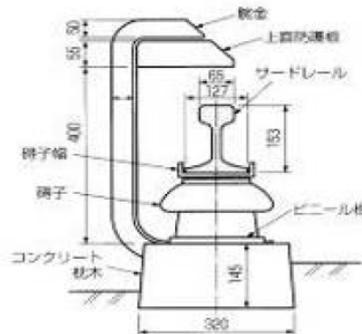
しかしながら、大きな揺れを伴う大地震が発生した場合は、高架橋部分において、サードレールに左右の揺れが発生し、転倒してしまう可能性があります。特に複数の地点で転倒が発生してしまうと、サードレールを復旧するまでの間、列車の運行に遅れが生じます。

そこで、サードレールの脱落防止策を検討し、脱落防止器具を取り付ける等の対策を行い、耐震性能の向上を図ります。

高架部



サードレール構造図



	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計
区間	仲町台～センター南駅	3号線	1号線	
脱落防止器具 取付か所	約 30か所	約 80か所	約 60か所	約 170か所

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
2 関内駅防災設備更新工事	156,223

(1 事業目的・内容)

関内駅の自動火災報知設備を更新します。

関内駅の自動火災報知設備は、設置から20年以上が経過し老朽化が進行しているため、修理が必要となる場合があります。しかし修理部品の流通も少なくなっており、故障が発生してしまうと修理に時間を要す懸念があります。

一方、関内駅の建築・機械・電気設備等についても老朽化が進行し、改良や更新が必要な状況です。また構築についても様々な場所から発生している漏水の補修やさらなる耐震性の向上を目的とした工事が実施されています。

これら様々な課題を解決するため、関内駅の大規模改良工事を29年度から3か年計画で実施しています。そのため自動火災報知設備についても大規模改良工事に合わせ安全かつ効率的に更新し、駅の防災機能を維持・向上させることとします。

●自動火災報知設備について

居室等に設置されている感知器が熱や煙を感知し、受信機に火災信号などを送り知らせます。また受信機は警報を発し、火災地区を表示し地区ベルなどを鳴動させ建物内に居る人に火災の発生を知らせる設備です。設備は、受信機・発信機・中継器・表示灯・地区音響装置・感知器などの機器から構成されます。また受信機の更新時期は設置から、20年とされています。(メーカー工業会の推奨)

▼設備の現状



■自動火災報知設備



■防犯モニター、非常放送など



▼改修イメージ



■自動火災報知設備ほか集約された防災設備

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

●根拠条例(設置基準)

消防法第17条、消防法施行令第21条、その他、横浜市火災予防条例第51条等、防火対象物の用途・規模に応じて設置し、点検・維持を行う義務がある。

(4 除却資産の有無)

■ 有 1976-20-00036 1992-20-00280
□ 無

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	61,230	156,223				217,453
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 電気課 担当者名： 府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
3 関内駅電気室更新工事	71,540

(1 事業目的・内容)

安定した電力を駅に供給する設備である電気室の機能を維持するため、電気室の更新を行います。

関内駅電気室は、昭和50年の設置以来、40年以上稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安:約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

一方、関内駅の建築や機械、その他の電気設備についても、老朽化が進んでおり更新が必要な時期となっています。また漏水や構築の耐震補強等の補修も必要な状況にあります。このことから、29年度から3か年計画で駅全体の大規模改良工事に着手しています。

そのため関内駅電気室についても、この大規模改良工事に併せ、効率的かつ安全に更新に着手することとしました。なお更新にあたっては、高効率機器を導入し、省エネルギー化にも取り組むこととします。

▼設備の現状



▼改修イメージ



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有 1988-20-00057 1990-20-00012 1994-20-00102
- 無 2005-20-00175 2007-20-00246 2007-20-00517
- 2010-20-00512 2010-20-00516

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	152,020	71,540	60,720			284,280
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
4 照明更新工事	

(1 事業目的・内容)

駅照明の消費電力を削減しCO2の排出を抑止することで温暖化対策に寄与することを目的に、23年度から25年度の3か年でブルーライン32駅の直管型40W蛍光灯のLED化を予定通り完了しました。
さらに27年度からは新たな計画を策定し、直管型110W蛍光灯や水銀灯のLED化を駅の改修や老朽化対策等に合わせて実施しています。
以上の計画に基づき、31年度はあざみ野駅の照明についてLEDに更新する工事を実施します。

【事業実績】

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(見込み)	31年度(計画)
駅数	9駅	12駅	11駅	実施なし	1駅	4駅	3駅	3駅	1駅
駅名	湘南台、戸塚 上大岡、関内 横浜、新横浜 センター南 センター北 あざみ野	上永谷、港南中央 弘明寺、吉野町 阪東橋、長者町 桜木町、高島町 三ツ沢下町 三ツ沢上町 片倉町、岸根公園	下飯田、立場 中田、踊場、舞岡 下永谷、蒔田 北新横浜、新羽 仲町台、中川	—	センター北	弘明寺、桜木町 高島町、横浜	三ツ沢上町 片倉町、岸根公園	三ツ沢下町 仲町台、中川	あざみ野
本数	2,300本	2,017本	2,054本	—	365本	896本	1,086本	1,022本	301本
更新内容	40W型蛍光灯をLED灯に更新			—	110W型蛍光灯や水銀灯をLED灯に更新				

【更新の内訳】

駅名	あざみ野
更新台数(計画)	301台

更新にあたっては、周囲の機器等に影響を与えないか等、安全性などについても調査や確認等も行いながら、導入を進めてまいります。

【更新計画】

年度	32年度	33年度	34年度	35年度
事業計画	2駅	1駅	2駅	5駅
	舞岡、下永谷	新羽	湘南台、立場	下飯田、中田、踊場 蒔田、北新横浜

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	65,980					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
5 阪東橋駅防災設備更新工事	31,040

(1 事業目的・内容)

阪東橋駅の自動火災報知設備を更新します。

阪東橋駅の自動火災報知設備は、前回の更新から20年以上が経過し老朽化が進行しているため、修理が必要となる場合があります。しかし修理部品の流通も少なくなっており、故障が発生してしまうと修理に時間を要す懸念があります。

一方、阪東橋駅の建築・機械・電気設備等についても老朽化が進行し、改良や更新が必要な状況です。また構築についても様々な場所から発生している漏水の補修やさらなる耐震性の向上を目的とした工事が実施されています。

これら様々な課題を解決するため、阪東橋駅の大規模改良工事を29年度から3か年計画で実施しています。そのため自動火災報知設備についても大規模改良工事に合わせ安全かつ効率的に更新し、駅の防災機能を維持・向上させることとします。

●自動火災報知設備について

居室等に設置されている感知器が熱や煙を感知し、受信機に火災信号などを送り知らせます。また受信機は警報を発し、火災地区を表示し地区ベルなどを鳴動させ建物内に居る人に火災の発生を知らせる設備です。設備は、受信機・発信機・中継器・表示灯・地区音響装置・感知器などの機器から構成されます。また受信機の更新時期は設置から、20年とされています。(メーカー工業会の推奨)

▼設備の現状



■自動火災報知設備、防犯モニター、非常放送

▼改修イメージ



■自動火災報知設備ほか集約された防災設備

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	設計	発注	工事	
防災設備更新		0	0	31,040

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

●根拠条例(設置基準)

消防法第17条、消防法施行令第21条、その他、横浜市火災予防条例第51条等、防火対象物の用途・規模に応じて設置し、点検・維持を行う義務がある。

(4 除却資産の有無)

- 有 1988-20-00017
 無 1992-20-00271

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	31,040	31,040				62,080
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
6 阪東橋駅電気室更新工事	96,220

(1 事業目的・内容)

安定した電力を駅に供給する設備である電気室の機能を維持するため、電気室の更新を行います。

阪東橋駅電気室は、昭和47年の設置以来、45年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です(更新の目安:約30年)。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

また阪東橋駅の建築や機械、電気設備についても、建築材や各設備の老朽化、漏水や構築の耐震補強等の補修も必要な状況にあることから、29年度より3か年計画で、駅の大規模改良工事に着手しました。

このことから阪東橋駅電気室についても、大規模改良工事に併せ、効率的かつ安全に更新に着手することとしました。なお更新にあたっては、高効率機器を導入し、省エネルギー化にも取り組むこととします。

▼設備の現状



▼改修イメージ



	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	設計	発注	工事	
電気室更新		0	82,770	96,220

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
機器制作	●	●	●	●	●	●	●	●							
工場検査							●	●							
機器搬入・据付							●	●	●	●					
切替・試験調整									●	●	●	●			
既設機器撤去										●	●	●			

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

1988-20-00014	2003-20-00045
■ 有	1990-20-00057
□ 無	2005-20-00159
	1992-20-00071
	2005-20-00160
	1992-20-00236
	2006-20-00257
	1992-20-00259
	2008-20-00677

(5 補助対象の有無)

□ 有
■ 無

(6 年次表)

178990

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	178,990	96,220				275,210
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
7 送電線更新工事(最戸変電所から上永谷変電所)	200,000

(1 事業目的・内容)

【工事の目的】

送電線(ケーブル)は、電力会社より買電している当局の受電変電所から、き電変電所へ電気を供給するための電力ケーブルです。

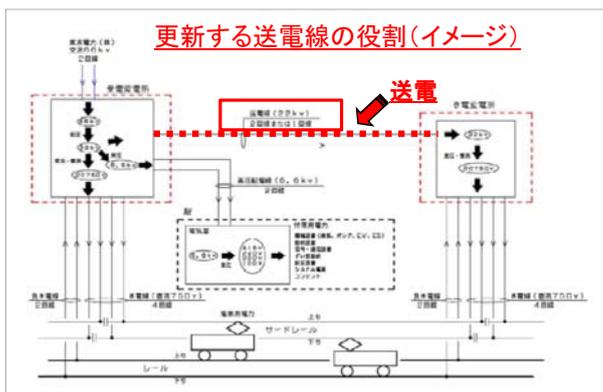
30年度から更新の送電線は敷設・運用から、43年が経過しており、ケーブルの信頼性が低下しつつあると考えられます。そのため安定した電力供給の維持を目的に、更新計画に基づき、送電線の更新を実施します。

【課題】

工事の大半は夜間の軌道内を占有する工事のため、関係箇所との調整を密にし工事を行う必要があります。また送電線の切替時には、電気を供給している他の変電所の運転に影響を与えないよう慎重に切替を実施し、安全に工事を進捗させ、完成させます。

★更新計画

区 間	線路	亘長	設置	経過年数	H28	H29	H30	H31	H32	H33
最戸～上永谷(上り)	S3	3837	1975	43			●————●			
最戸～笹下	S4	2243	1977	41					●————●	
蒔田～最戸(下り)	S5	3069	1971	47	●————●					
蒔田～最戸(上り)	S6	2930	1974	44	●————●					



★ケーブル更新の目安

日本電線工業会 技資第107号	10～20年
交通局	40年

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		200,000				
債務負担設定	285,560					285,560

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

8 伊勢佐木長者町駅電気室更新工事

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの電気室は駅の大規模改修に合わせて設備更新を実施してきましたが、設備の老朽化により機器の更新が必要とされる電気室のうち、竣工から40年以上が経過した電気室について、安定した電力を駅に供給する設備である電気室の機能を維持するため、電気室の更新を行います。

伊勢佐木長者町駅電気室は、昭和47年の開業以来、46年稼働しており、補修部品の入手やオーバーホール等の修繕が困難な状況です（更新の目安：約30年）。万一、電気室の機能に故障が発生した場合、駅の電力供給が行えないばかりか、信号保安装置等、列車の運行に必要な装置への電力供給が行えなくなり、運行支障が発生してしまい、その結果、多くのお客様にご迷惑をおかけすることにもなります。

また、電気室で使用している変圧器についてはPCB含有の機器のためPCB特措法に基づく処分期限（平成38年度末）までに機器の更新を実施し、既設変圧器を処分する必要があります。

このことから伊勢佐木長者町駅電気室について、機器更新に着手することとしました。なお更新にあたっては、安全に配慮し、高効率機器を導入し、省エネルギー化にも取り組むこととします。

▼設備の現状



▼改修イメージ



電気室更新計画

年度	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
長者町駅	●	☆	☆								
横浜駅		○	●	☆	☆						
弘明寺駅				○	●	☆	☆				
高島町駅						○	●	☆	☆		
上永谷基地							○	●	☆	☆	
上永谷駅									○	●	☆

○基本設計 ●実施設計 ☆工事（工期15か月程度）

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 1972-20-00020 2005-20-00167
- 有 1990-20-00056
- 無 1992-20-00072
- 1992-20-00235
- 1992-20-00258

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
9 横浜駅電気室設計委託	

(1 事業目的・内容)

電気室更新のための実施設計について、設計を委託します。

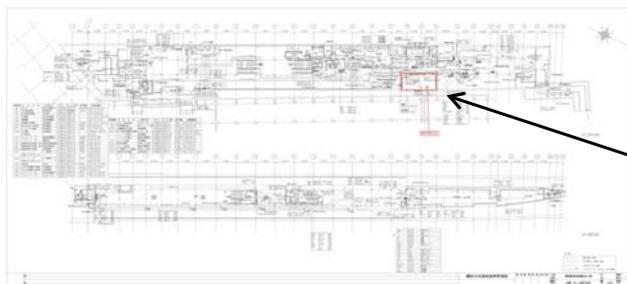
ブルーラインの電気室は駅の大規模改修に合わせて設備更新を実施してきましたが、設備の老朽化により機器の更新が必要とされる電気室のうち、駅の大規模改修の予定がなく竣工から40年以上が経過した電気室について、機器更新の実施設計を委託し、更新を進めていきます。

基本設計 ●—●—●—
 実施設計 ●—●—●—
 工事 ●●●●●●

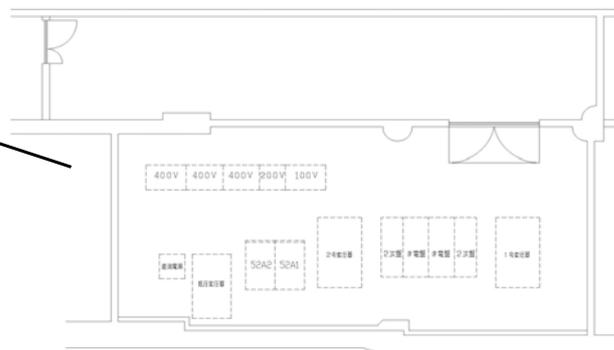
★委託発注計画

対象電気室	設置年	経過年数	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度
伊勢佐木長者町駅	1972	45		●—●—●—	●●●●●●	●●●●●●				
横浜駅	1975	42			●—●—●—	●—●—●—	●●●●●●	●●●●●●		
弘明寺駅	1971	46					●—●—●—	●—●—●—	●●●●●●	●●●●●●
高島町駅	1975	42						●—●—●—	●—●—●—	●—●—●—

横浜駅B2・B3平面図



横浜駅電気室機器配置図



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	18,000					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
10 防災設備更新	

(1 事業目的・内容)

戸塚駅の自動火災報知設備の更新を行います。
 戸塚駅の自動火災報知設備は、設置から30年以上が経過し、機器の老朽化が進行しています。
 現状、修理に必要な部品の入手が困難となっており、一旦故障が発生してしまうと修理対応に時間を要する懸念があります。
 そのため受信機を更新し、安全性の維持に努めます。

	28年度	交換対象	29年度	交換対象	30年度	交換対象	31年度	交換対象
対象駅	三ツ沢上町	受信機 (経年31)	舞岡	受信機 (経年32)	下永谷	受信機 (経年31)	戸塚	受信機 (経年32)
	三ツ沢下町	受信機 (経年31)	立場	受信機 (経年16)	片倉町	受信機 (経年31)		
	岸根公園	非常電話 (経年31)	踊場	受信機 (経年16)				

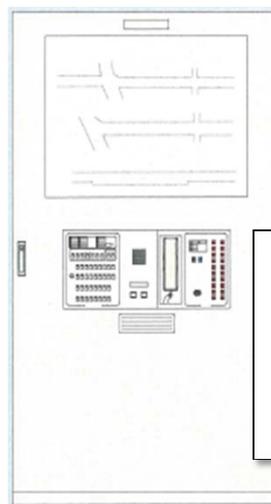
●自動火災報知設備について

居室等に設置されている感知器が熱や煙を感知し、受信機に火災信号などを送り知らせます。また受信機は警報を発生し、火災地区を表示し地区ベルなどを鳴動させ建物内に居る人に火災の発生を知らせる設備です。設備は、受信機・発信機・中継器・表示灯・地区音響装置・感知器などの機器から構成されます。

▼設備の現状



▼地図式受信機【改修イメージ】



- ・基本盤寸法
W1200 H2000 D400
- ・自立型
- ・平面地図表示式
- ・非常電話親機
- ・非常電話制御部
- ・排煙区画連動スイッチ

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

●根拠条例(設置基準)

消防法第17条、消防法施行令第21条、その他、横浜市火災予防条例第51条等、防火対象物の用途・規模に応じて設置し、点検・維持を行う義務がある。

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	31,476					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
11 上永谷車両基地開閉器更新	

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地の検車庫用直流開閉器盤及び現地操作盤の更新を行います。
 上永谷車両基地検車庫用直流開閉器盤(以下、C盤)及び現地操作盤(以下G盤)は、昭和52年に設置されました。現在、42年経過しており、劣化が進行しています。また修理に必要な補修部品等も既に生産が中止されており、故障等の不具合が発生した場合に修理対応に多くの時間を要してしまう状況です。
 そのため、特に劣化が進んでいる盤から順次更新を実施します。

【主な不具合】

- 経年老朽化による本体の発錆や腐食
- 可動部の動作不具
- スイッチの接触不良

今後の直流開閉器盤更新スケジュール

	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計
C盤	0面	7面	7面	14面
G盤	0面	5面	5面	10面
MC盤※	1面	0面	0面	1面

※MC盤:C盤に電源を送るための直流開閉器盤

【C盤について】

上永谷車両基地には、車両を点検するための点検線があります。点検線内には、点検中の列車に直流750Vを送るための「栓受」と呼ばれる設備があります。
 C盤は、「栓受」の直流750Vを開閉するための直流開閉器盤で、電磁接触器1台で構成されています。

【G盤について】

G盤は、C盤に収納されている電磁接触器を遠方の点検線で開閉操作するための現地操作スイッチ盤です。

▼直流開閉器盤(C盤)



▼現地操作盤(G盤)



- (2 前年度から変更・見直した点)
 (3 根拠法令・規程、現場の意見等)
 (4 除却資産の有無)

- (5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事業 内容 】	31年度予算額
12 直流電源装置更新工事	

(1 事業目的・内容)

直流電源装置は停電時に駅の非常灯を点灯させたり、電気室及び変電所の開閉器の動作や故障検出を行う継電器への電源を供給しています。
31年度は設置から30年以上経過した、戸塚駅の直流電源装置の機器更新を行い、機器の健全性の維持・確保を行います。
更新計画は直流電源装置の設置から30年経過した装置に対して、鉛蓄電池の寿命を考慮して計画しています。

<更新計画>

	H30	H31	H32	H33
場所	三ツ沢上町	戸塚駅	更新計画なし	牛久保変電所(3台)
製造年・更新時経過年数	1984年・35年経過	1986年・34年経過	/	1992年・26年経過
蓄電池交換実施年・蓄電池経過年数	2011年・8年経過	2007年・13年経過	/	変電所制御用 2015年・6年経過 発電機制御用 2018年・3年経過 発電機始動用 2018年・3年経過
内容	蓄電池交換及び整流器更新	蓄電池交換及び整流器更新	/	



【参考】直流電源装置

(2 前年度から変更・見直した点)
機器更新計画

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
横浜市高速鉄道電力設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	11,868					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 電気課 担当者名： 府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
13 三ツ沢変電所機器更新工事	

(1 事業目的・内容)

使用開始から30年以上が経過し、機器の劣化が進行している変電所機器の更新を計画的に実施し、機器の信頼性を向上させ、安全の確保を図ります。
 変電所機器の耐用年数は日本電機工業会の推奨によると20年から25年程度とされています。交通局では定期的な点検および部品交換を行い機器の延命化を図っています。機器更新時期は30年以上が経過した機器に対して部品供給の可否や劣化状況より更新時期を判断し、概ね35年程度で変電所機器の全面更新を行っています。

【設備の現状】



【事業計画】

	30年度	31年度
基本設計		
詳細設計	-----	
機器製作		=====
据付配線工事		=====

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 電気課 担当者名： 府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

14 三ツ沢変電所機器更新工事に伴う電線路工事ほか

(1 事業目的・内容)

三ツ沢変電所の受変電機器は、使用開始から30年以上が経過し機器の劣化が進行しています。製造中止となった部品も多く、健全な機能を維持することが困難となっているため、全面的な機器更新を実施し、安全性の向上を図ります。

上記変電所の全面的な機器更新に伴い、機器配置や内容の変更、ケーブルの劣化などがあるため、き電線路の張り替え、電力管理システムの改修を実施します。

設備概要

設備	概要
き電線路	電車が走るのに必要な電源をき電するためのケーブル
電力管理システム	変電所の機器状態、故障情報、電力量データ等を収集し、それぞれの状態表示や機器の操作をすることができる設備

更新概要

設備	概要
き電線路	変電所からサードレールをつなぐケーブル(正き電線)の更新 レールから変電所までをつなぐケーブル(負き電線)の更新
電力管理システム	遠制御装置(子局)の更新 変電所の機器状態、故障情報、電力量管理を更新後の機器に対応させる

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 1984-20-00372 1984-20-00443
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

15 最戸変電所非常用発電機更新工事設計委託(詳細設計)

(1 事業目的・内容)

最戸変電所の非常用発電機を更新するための詳細設計を委託します。

最戸変電所に設置されている非常用発電機は更新時期を迎えおり、平成30年度基本設計に引き続き、建設時とは変電所建屋の構造や周辺の環境も大きく変化しているため、更新にあたっては発電機自体の仕様の見直しや新たな騒音対策等を検討する必要があるため、基本計画について、詳細設計を委託します。

【事業計画】

件 名	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	基本設計	詳細設計	契約・機器製作	工事
最戸変電所非常用発電機更新	—	—	—	—

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	7,321					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
16 片倉変電所機器更新工事設計委託	

(1 事業目的・内容)

片倉変電所の機器全面更新するための基本・詳細設計を委託します。

片倉変電所に設置されている変電機器は更新時期を迎えおり、機器更新にあたっては変電機器(非常用発電機含む)、建物電気設備(照明)、防災設備、機械設備、建築設備の仕様の見直しを検討する必要があるため、基本計画について、基本・詳細設計を委託します。

【事業計画】

件 名	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	基本・詳細設計	契約・機器作製	工事
片倉変電所機器更新	—————	—————	—————



66kV 特別高圧受電設備



直流き電設備

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

18 電力管理システム更新工事

(1 事業目的・内容)

電力管理システムは変電所の機器状態、故障情報、電力量データ等を収集し、それぞれの状態表示や機器の操作をすることができます。

各変電所には上記を行う為、遠方監視制御装置が設置されていますが、生産終了、保守終了となったものが多くあるため、電力管理システム全体での更新を行います。

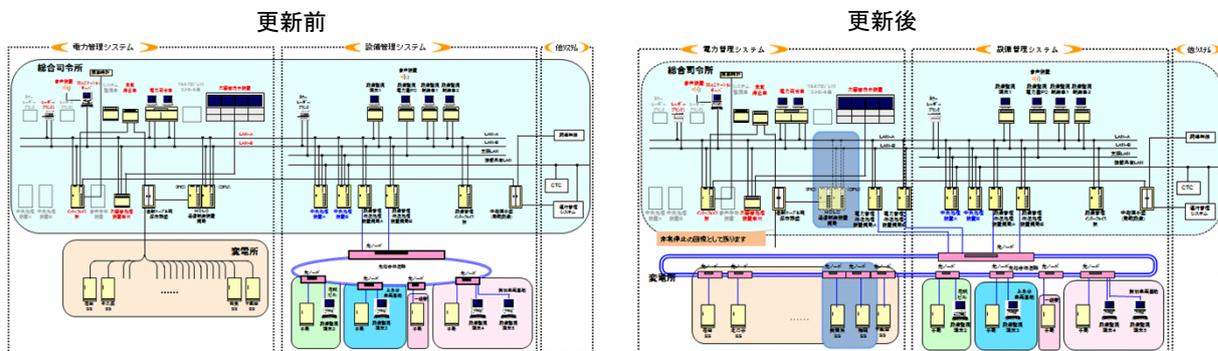
更新の際は電力管理システムと設備管理システム(注1)の統合を行います。
システムの統合により、装置の削減ができるため、機器導入費、保守費の削減につながります。

更新予定の電力管理システムは光IP方式となっており、中央処理装置と変電所を結んでいる既設のメタルケーブルでは更新ができないため、31年度に光ファイバケーブルの敷設を行い、32年度以降に機器の更新を行います。

光ファイバケーブルを敷設することにより、処理できるデータが増えるため、将来的に各変電所へカメラを設置することによって中央司令所にて監視することができます。

(注1)設備管理システムは駅の機器状態、故障情報、電力量データを収集し、それぞれ状態表示機器の操作をすることができます。

年度	作業内容
31	各変電所へ光ケーブル敷設
32	電力管理システムと設備管理システムの統合
33	舞岡、笹下、三ツ沢、片倉、新横浜、北の谷、茅ヶ崎、牛久保、荏田s/sを更新
34	下飯田、和泉、踊場、上永谷、最戸、蒔田、関内、高島町、新羽s/sを更新



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
19 モーターカー更新	42,108

(1 事業目的・内容)

○保守用モーターカーの更新を計画します。
 更新を検討している保守用モーターカーは、製造から26年が経過(平成4年(1992年)製造)し、修理部品の入手が困難になっています。そのため、経年故障の修理対応に苦慮することや、修理期間中はモーターカーが使用できないため、点検時期にも支障を及ぼすなどの問題が生じます。
 一方、地下鉄の電気、信号、通信や機械を始めとする様々な設備の老朽化も進行しており、保守作業が不可欠な状況となっています。地下鉄のトンネル内や駅の設備を保守する場合、設備の性質上、保守時間上モーターカーでの点検が必要になります。そのためにもモーターカーの健全性確保が課題となっています。この課題を解決するためにモーターカーを更新し、安全で効率的な保守作業や緊急・災害時の機動力確保を維持します。



保守用モーターカー(1992年製)



参考：グリーンラインで導入したモーターカー

H31年度対象

更新年度	MC配置場所	用途	仕様	型式
H31	新羽	電力保守用	マニュアル	RD-H4
H32	上永谷	電力保守用	マニュアル	RD-H4

更新計画

配置	用途	H27	H28	H29	H30	H31	H32
上永谷	電力保守						完成予定
	信通保守			(機能統合)			廃車
	工事・保守用					完成・運用中	
新羽	電力保守					完成予定	
	信通保守					完成予定	
	工食用						(機能統合を検討)

○モーターカーが必要な主な保守作業

- ・ATC受信レベル測定作業
- ・列車通信線、列車無線装置点検
- ・列車接近警報装置、沿線電話点検
- ・サードレール、碍子交換作業
- ・ずい道内ランプ交換作業
- ・その他、資材運搬 ……など

【課題・目標】

- ・外観の状態は良好。制動部や油圧系統の老朽化が著しく、修理が増加傾向にある。
 - ・製造から26年を経過し、補修用部品の入手が困難な状況にある。
 - ・同型機が4台あり、保守用部品が入手できない場合、すべてに影響が出る。
- 以上の課題を解決するためにモーターカーを更新し、安全で効率的な保守作業を実施し継続させます。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有 1992-20-00534、00965
 □ 無

- 有
 ■ 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	41,000	42,108				
債務負担設定	44,000					

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属：電気課 担当者名：府馬

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
20 サードレール定規	

(1 事業目的・内容)

サードレールのずれを測定するために使用する定規を購入します。

サードレールは、砵子の上に自身の自重のみで支持されており、固定されていません。そのため、列車通過時の微細な振動で、本来の据え付け位置からずれが生じることがあります。そのずれをサードレール定規で測定し、点検と調整を行い列車の運行の安全を保っています。

現在使用しているサードレール定規は、製作されてから20年以上経過しており、専用の道具で校正を行い使用していますが、経年により各機構部にゆれが発生しています。また、総重量が12kgもあり（1.5リットルのペットボトルを8本縦に連結したサイズと重量がある）、それを夜間に軌道内に持ち込み、駅間1.5kmの距離持ち運び約650個ほどのポイントで測定を行っています。

今回新しく購入するサードレール定規は、重量が約6kgと半分近くなる予定で、また測定数値を読む面が定規の上部に来るため、測定にかかる身体的負担が大幅に軽減されます。



サードレールの測定風景

上永谷電気区	1台
新羽電気区	1台

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

21 信号保安装置更新

(1) 事業目的・内容

上永谷車両基地の信号保安装置は、運用開始後約26年経過し、経年劣化が進んでいます。これまでに経年劣化対策として、設置後13年を基準に連動装置の部分更新などを行い、重大事故や運行阻害に直結する故障の発生はなく、安全性を確保して来ました。しかし、上永谷車両基地は電子連動装置を採用しており、設置後26年を経過することから、以下の理由により全面更新を行います。

- ・今後故障の増加が予測されること。
- ・装置を構成する主要部品がすでに製造中止となり、今後の修理対応が困難なこと。
- ・装置内の配線、コネクタ等にも劣化が進んでいること。

信号保安装置更新基準

装置名		区分	部分更新	部分更新	全面更新	備 考
			①	②		
電源装置	直流		13年	—	25年	
				12年		鉛蓄電池
ATC	アナログ式	有絶縁	13年	—	25年	
		無絶縁	10年	20年	30年	
	ME式	無絶縁	15年	—	30年	
連動装置	継電連動		—	15年	30年	
	電子連動		13年	—	25年	

更新工事では、信号機器室単位で順次実施し、設備の更新によりお客様の安全輸送を確保します。

平成29・30年度 戸塚・踊場信号機器室 統合化更新予定(設置後32年)
平成31・32年度 上永谷車両基地信号機器室 全面更新予定(設置後28年)
平成33・34年度 新羽信号機器室 全面更新予定(設置後28年)

信号装置	使用開始	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
戸塚 踊場	S62年5月	工事・撤去				
上永谷 車両基地	H4年2月 部分更新設計	工事	撤去		
新羽	H5年3月			...設計...	工事	撤去

(2) 前年度から変更・見直した点

なし。

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条第3項 運転保安設備の保持
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4) 除却資産の有無)

- 有 上永谷車両基地信号機器室(H32)
 無

(5) 補助対象の有無)

- 有
 無

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	1,062,113					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

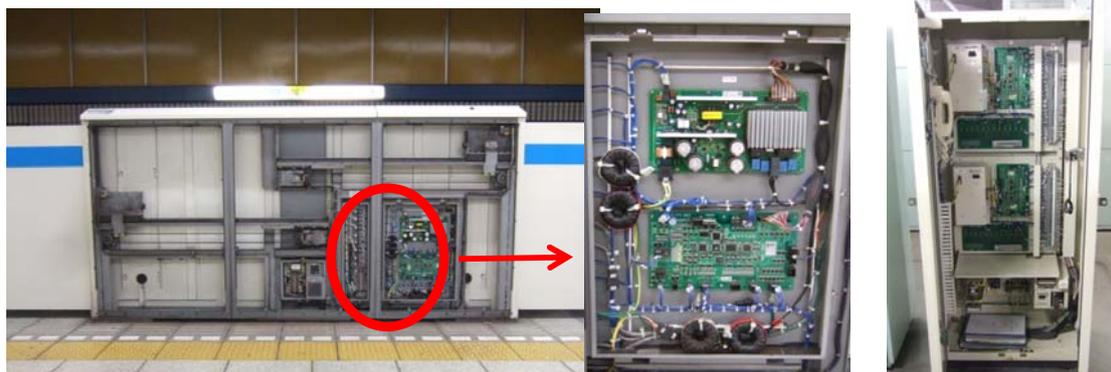
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
22 BLホーム柵延命化のための部分更新	246,841

(1) 事業目的・内容)

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また車両の戸挟みによる引きずり事故の防止のため、自動列車運転装置(ATO)を経由して車両と通信し、車両ドアと連動してドア開閉を行う装置です。ブルーラインの可動式ホーム柵は、平成19年12月に設置開始してから10年が経過し、年に2回点検しながら使用していますが、近年ホーム柵内部の電源基板や制御基板、モータやセンサーなどの故障が発生しはじめています。製造メーカーの推奨では10年で一部の部品交換、20年で部分更新、30年で全面更新であることから、平成30年度より延命化のための部品交換を実施します。部品交換においては、ホーム柵内部などの部品交換に時間がかかることから各機器内の基板類とモータ・センサーの2回に交換作業を分け、さらに32駅を3年に分けて、6年計画で実施します。



ホーム柵内部

ホーム柵内部基板拡大

総合制御盤内部

	作業内容	部品購入数量	作業駅数	備考
平成30年度	基板類交換	22駅分	6駅	予備品の購入も含む
平成31年度	(電源・制御基板、総合制御盤、	6駅分	16駅	
平成32年度	駅務室監視盤、駅係員操作盤)	4駅分	10駅	
平成33年度	モータ・センサー類交換	22駅分	6駅	予備品の購入も含む
平成34年度	(モータ、スイッチ、センサー、タイ	6駅分	16駅	
平成35年度	ミングベルト)	4駅分	10駅	

(2) 前年度から変更・見直した点)

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4) 除却資産の有無)

- 有
 無

- 有
 無

(5) 補助対象の有無)

- 有
 無

- 有
 無

(6) 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	109,224	246,841	192,992			
債務負担設定	476,773					476,773

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
23 GLホーム柵延命化のための部分更新	71,557

(1 事業目的・内容)

可動式ホーム柵は、プラットホームにおけるお客様の転落や列車との接触防止、また車両の戸挟みによる引きずり事故の防止のため、自動列車運転装置(ATO)を経由して車両と通信し、車両ドアと連動してドア開閉を行う装置です。

グリーンラインの可動式ホーム柵は、平成20年3月に設置開始してから10年が経過し、年に2回点検しながら使用していますが、近年ホーム柵内部の電源基板や制御基板などの故障が発生しています。製造メーカーの推奨では柵の駆動に関する部品を10年周期、乗務員操作部や管理記録部は15年周期で部品交換、30年で全面更新であることから、平成31年度より延命化のための部品交換を実施します。

10年周期の交換部品においては、制御基板やモーターの特殊部品は納期がかかるため、先行して平成30年度に5駅分の部品を購入します。部品交換作業においては、ホーム柵内部などの部品交換に時間がかかることから10駅を2年に分けて、10年周期および15年周期の部品交換作業を各2年計画で実施します。



	作業内容	部品購入数量	作業駅数	備考
平成30年度	制御基板、電源部品、駆動部等購入	5駅分	0駅	
平成31年度	制御基板、電源部品、駆動部等購入＋交換作業	5駅分	5駅	10年周期、予備品の購入
平成32年度	交換作業	0駅分	5駅	10年周期
平成33年度	作業なし	0駅分	0駅	
平成34年度	作業なし	0駅分	0駅	
平成35年度	個別操作盤、緊急停止装置等購入＋交換作業	5駅分	5駅	15年周期
平成36年度	個別操作盤、緊急停止装置等購入＋交換作業	5駅分	5駅	15年周期

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		71,557	71,557			
債務負担設定	146,740					146,740

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

24 GL信号保安設備延命化のための部分更新

(1 事業目的・内容)

グリーンラインの信号保安設備は列車の安全運行を確保するためのATC装置、電子連動装置、PRC装置及び各信号装置の動作を記録して動作の解析を行うための信号モニタ装置等で構成されています。

今回部分更新する信号保安設備は設置から約11年経過するため、ユニット類のコンデンサやスイッチング回路などの経年劣化により、故障が発生しやすい部品(期待寿命10年)を部品交換します。また、信号モニタ装置やPRC装置等で使用されているファクトリーコンピュータ(FAPC)はすでにメーカーのサポート期間が終了し交換部品の入手が困難な状況であるため、ファクトリーコンピュータ(FAPC)を更新します。各種部品交換をすることにより、故障未然防止及び信号保安設備の延命化を図ります。



	対象設備	内容
平成30年度	川和電気区モニタ、基地PRC/連動制御盤等更新	FAPC更新、操作PC更新
平成31年度	センター北機器室、日吉機器室	FAPC更新、電源部品更新
平成32年度	中山機器室、川和町機器室、川和基地機器室	FAPC更新、電源部品更新

(2 前年度から変更・見直した点)

更新計画に基づき、本体装置の更新予定年数(約20年~25年)の1/2を目途に部品交換を実施します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費	14,114					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

25 信号電源装置ユニット類更新作業

(1 事業目的・内容)

信号電源装置は、信号保安設備である連動装置、ATC装置、CTC装置、転てつ装置、信号装置などに安定した電力を供給して、列車運行の安全を確保するための装置です。

関内及び伊勢佐木長者町停車場の信号電源装置は、設置から約13年(2006年5月設置)が経過するため、ユニット類、コンデンサ、スイッチング回路などの経年劣化により故障が発生しやすい(期待寿命約10年)部品を更新し、故障の未然防止および信号保安設備の機能維持を図ります。

H29年度 なし

H31年度 関内・伊勢佐木長者町信号機器室(2006年5月=約13年)

H32年度 横浜信号機器室(2007年3月=約13年)

H33年度 なし

H34年度 なし

H35年度 上永谷信号機器室(2010年3月=約13年)

○関内・伊勢佐木長者町停車場 内訳

項 目	数 量	要 求 額
部品類交換	一 式	
経費	一 式	
小計		
消費税(10%)		
計		

(2 前年度から変更・見直した点)

○H28年度の上大岡停車場と同様の更新です。

○更新計画に基づき、本体装置の更新予定年数(約20~25年)の1/2を目処に部品交換を実施します。

○コンデンサーの更新においては、従来型(期待寿命約5~7年)ではなく長寿命型(期待寿命約7~10年)を採用します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

26 信号設備ユニット類更新作業

(1) 事業目的・内容

①電子連動装置

信号保安設備の一つである電子連動装置は、進路の構成や転てつ機の鎖錠など、停車場において列車の安全運行を確保するための装置です。

今回更新する関内及び伊勢佐木長者町停車場の電子連動装置は、設置後約13年(2006年5月設置)が経過しており、電子連動装置の主要構成部品である各ユニットのコンデンサー、継電器その他の経年劣化部品(期待寿命10年)の更新を行うことで、信号保安設備の故障の未然防止および延命化を図ります。

②ATC装置

信号保安設備の一つであるATC装置は、列車の在線位置を検知して、先行列車に衝突しないよう各区間の許容速度を決定して列車に送信し、列車の安全運行を確保するための装置です。

今回更新する関内停車場のATC装置は、設置後約13年(2006年5月)が経過しており、経年劣化部品(期待寿命10年)である各ユニット内のコンデンサー、ロータリースイッチ、電源コンバータ、継電器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

③信号モニタ装置

信号保安設備の一つである信号モニタ装置は、ATC装置や連動装置など各信号設備の状態を監視して故障や異常を表示するとともに、各信号設備の動作を記録して動作の解析や障害発生時の調査をおこなうためのモニタ装置です。

今回更新する関内停車場の信号モニタ装置は、設置後約13年(2006年5月)が経過しており、信号モニタ装置の主要構成部品であるファクトリーコンピュータはすでにメーカーのサポート期間も切れて交換部品が入手できず、修理ができない状態です。したがって、ファクトリーコンピュータや経年劣化部品(期待寿命10年)であるスイッチング電源や通信機器を更新することで、設備の機能維持および故障の未然防止を図ります。

H29年度 なし

H31年度 関内・伊勢佐木長者町信号機器室(2006年5月＝約13年)

H32年度 関内・伊勢佐木長者町信号機器室、横浜信号機器室(2007年3月＝約13年)

H33年度 なし

H34年度 なし

H35年度 上永谷信号機器室(2010年3月＝約13年)

○関内・伊勢佐木長者町停車場 内訳

項 目	数 量	要 求 額
電子連動装置部品類交換	一式	
ATC装置部品類交換	一式	
信号モニタ装置部品類交換	一式	
経費		
小計		
消費税(10%)		
計		

(2) 前年度から変更・見直した点

○H28年度の上大岡停車場と同様の更新です。

○更新計画に基づき、本体装置の更新予定年数(約20～25年)の1/2を目処に部品交換を実施します。

○コンデンサーの更新においては、従来型(期待寿命約5～7年)ではなく長寿命型(期待寿命約7～10年)を採用します。

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4) 除却資産の有無

(5) 補助対象の有無

有
 無

有
 無

(6) 年次表

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

27 1・3号線ATO装置ユニット類更新作業

(1 事業目的・内容)

ATO装置とは、市営地下鉄のワンマン運転を支援するための装置であり、列車の出発ボタン押下で次駅の停止位置まで自動で運転する装置です。

ブルーラインのATO装置は設置後約10年(2008年3月)が経過し、2年に1度メーカーによる点検を行っていますが、制御基板などの主要部品に故障が出ている状況です。そのため、主要部品を交換することで装置全体の延命化を図ります。

ユニット交換は32駅に加え、車両基地、司令所の部品を交換することから、2か年で部品交換を行います。



図1:ATO制御架



図2:ATO装置ユニット部

	作業箇所	ユニット交換台数
平成31年	あざみ野駅～関内駅、総合司令所	18枚×17架
平成32年	伊勢佐木長者町駅～湘南台駅、車両基地	18枚×19架

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
----------	---------

28 4号線運行管理システムの部分更新

(1 事業目的・内容)

運行管理システムは、運輸司令業務の効率化と旅客案内サービスの向上をはかるために、電子計算機を使用して列車の運行制御・運行実績記録・在線状況表示・案内放送、および案内表示の制御を自動的に行う装置です。

総合司令所のPTC中央装置は設置後約11年(2008年2月)が経過することから、主要部品の改廃により今後の修理が困難な状況です。運行管理システム設置後、10年経過したH31年度から経年劣化部品の更新を計画的に行い、設備の機能維持および故障の未然防止を図っていきます。H31年度は運行管理システムの共有ディスク装置のFAPCを更新します。

また、電源、IPnodeなどの10年が期待寿命である部品については、これまで予備品の購入をしてきておらず、今後の保守が困難になるため、部品を購入することでシステム全体の延命化を図ります。

○4号線運行管理システム延命化のための部分更新 内訳

項 目	数 量	要求額
共有ディスク装置の部品交換(FAPC更新)	一式	
電源、IPnodeなど	一式	
経費		
小計		
消費税(10%)		
計		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」第9章 第87条 施設及び車両の保全
横浜市高速鉄道信号通信設備整備心得

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
29 放送装置更新工事(下飯田駅)	

(1 事業目的・内容)

【目的】

放送設備の機能を維持し、駅の放送業務の改善と旅客サービスの向上を図ります。
老朽化した放送設備では、修理部品が製造中止となり、故障が発生した場合は長時間に渡り駅全体の放送が停止してしまいます。

【目標】

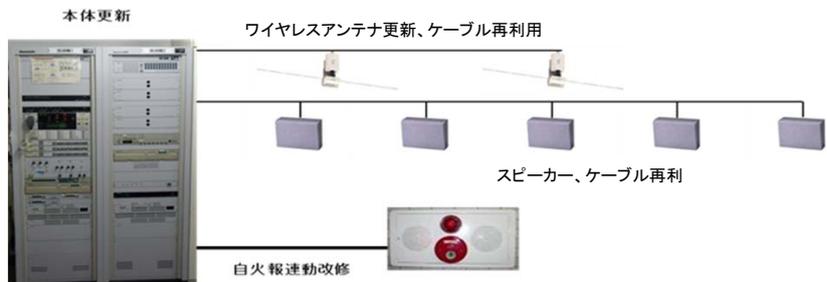
放送装置は設置から20年が経過したものを順次更新していましたが、推奨更新周期が12年であることもあり、今後は故障頻度の多くなる15年～18年程度で更新を行っていきたいと考えています。
来年度については、設置後20年が経過し、不具合が多く駅からの更新要望がでている下飯田駅の1駅について更新を行います。
現在の放送設備は現行消防法に対応済みのため、最小限の設備の更新とし、スピーカーやスピーカーケーブルは既設を再使用します。

【課題】

駅業務放送、自動案内放送、乗降促進放送等、各々の音量レベルを調整し、お客様に不快の念を与えないよう配慮します。

【機器構成】

非常放送機	一式
スピーカー	一式(一部増設)
ワイヤレス機器	一式
自動火災受信盤改造	一式



【内訳】

	機器費	工事費	経費	消費税(10%)	合計
下飯田					
計					

(2 前年度から変更・見直した点)

更新計画に基づき、対象駅を更新

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

消防法および横浜市火災予防条例

(4 除却資産の有無)

- 有 1999-20-01480
 無 2007-20-00165

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	30,326					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 電気課 担当者名： 大平

(単位:千円)

【 事業 内 容 】	31年度予算額
30 ITVカメラ設備設置工事(あざみ野駅ほか)	

(1 事業目的・内容)

【目的】

現在、GL全駅とBL主要駅のホーム映像は司令所からみることができますが、今後はその対象を拡大し、司令所がいち早く駅の状態を把握し、乗務員に的確な指示が出せるよう整備していきます。

31年度は、乗降客に多いあざみ野駅、戸塚駅と防犯・構内確認の要望がある立場駅についてITVを増設します。

【目標】

現在ブルーラインでは主要10駅にホーム監視画像伝送装置を導入しており、この10駅については運輸司令所からホームの状態を監視できるようになっていますが、ここに新たに駅を追加すると多大な費用が掛かります。

今後は既設のネットワークを利用し、市販されている簡易的なソフトウェアを使用することで、費用を抑えて拡張していきます。

【課題】

現在設置している「ホーム監視画像伝送装置」は新たな駅への設置や、既設駅への新規増設等の費用が高額になってしまい、また、構成や設定が複雑なため直営での対応に限界があります。



駅の状態を、既設ネットワークを利用して司令所や駅事務室で監視



【内訳】

	単価	数量	合計
あざみ野駅		一式	
戸塚駅		一式	
立場駅		一式	
経費		一式	
消費税(10%)		一式	
計			

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	17,768					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

31 ブルーライン対列車画像伝送装置用録画装置更新(1号線)

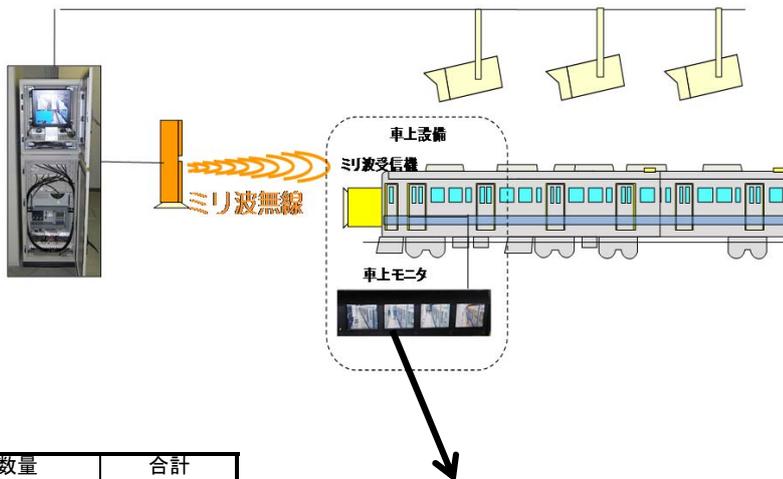
(1 事業目的・内容)

【目的】

現在、BL、GLともに列車ドア開閉時には「対列車画像伝送装置」を使用し、ドア付近の映像を地上に設置した送信機から列車に送信し、乗務員室のモニターで安全を確認しています
この映像を各駅に設置した録画装置で録画し、異常時等の解析に使用していますが、録画装置が設置から10年以上経過し、故障が多くなっていることから、平成30年度に3号線16駅分、平成31年度に1号線15駅分(別途30年度に更新を行う戸塚駅を除く)を更新します。

故障件数

平成28年度 .. 7件
平成29年度 .. 8件



【内訳】

	単価	数量	合計
録画装置		16 台	
試験調整		1 式	
予備品		1 式	
経費		1 式	
消費税		1 式	
計			



録画している映像
異常時の状況解析などに使用

(2 前年度から変更・見直した点)
要求金額を30年度設計実績とした

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	15,023					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
32 4号線列車無線装置部分更新(新スプリアス規制対応)	

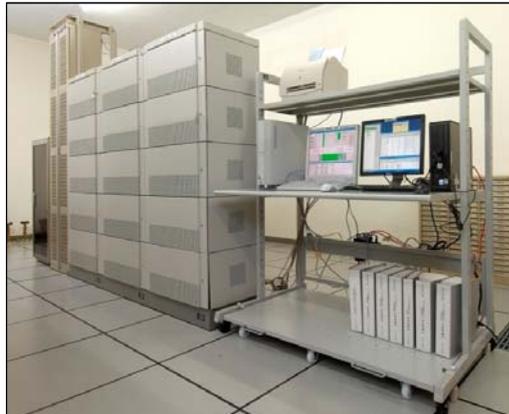
(1 事業目的・内容)

現在運用している4号線列車無線装置は、電波法・無線規則改正により平成34年11月以降使用不可となるため、改正後の規則に対応させるため、無線部を改修します。
 なお、当該無線設備は平成32年度に再免許申請を行うため、平成31年度までに改修を行います。
 また、平成19年度の運用開始から10年を経過するため、部分更新を行い装置全体の延命化を図ります。

列車無線基地局装置



列車無線中央装置



改修内容

※スプリアス発射(不要発射)とは

- ・無線設備が本来必要とする周波数の外側に発生する電波。
- ・電波の性質によるものや電源など無線機に由来するものがある。
- ・平成34年11月以降も使用するためには、新規規格を満たす必要がある。

改修装置	台数	改修内容
基地局装置	6	無線部改修(スプリアス対応)・予備機含む
中央装置	1	電源部更新
中継装置	2	電源部更新
司令操作盤	4	制御PC更新(予備機含む)
監視端末	1	更新
遠隔監視端末	1	更新
同期伝送装置	7	更新(予備機含む)
光伝送装置	6	電源部ほか更新
録音装置	1	更新

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- 世界無線通信会議における無線通信規則の改正(スプリアス発射の強度の許容値改正)
- 無線設備規則 第7条 別表第三号

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【事業内容】 31年度予算額

33 お客様用インターホン設置(横浜駅ほか)

(1 事業目的・内容)

【概要】

ホームにIPインターホンの子機を設置、駅事務室にIPインターホンの親機を設置します。
設置駅は横浜駅・あざみ野駅の計2か所です。
あざみ野駅についてはITV設備設置工事で設置するスイッチングハブにIPインターホンを接続します。

【現状】

現在はホームにインターホンが設置されていないため、駅員用に設置した「音声呼出電話」での連絡をお願いしています。
この「音声呼出電話」は収容箱に収納されているためお客様からは分かりにくく、とっさの時に使用し辛い状況です。



【目的】

お客様が駅構内で不審物や不審者を発見した場合や、トラブル発生時、また急病人を見かけた際に迅速に駅係員に連絡が出来るよう連絡手段を確保するため、ホームにインターホンを設置します。

【設置場所】

駅事務室×1台(親機)、ホーム階の上り方面×4台(子機)、下り方面(子機)×4台の9台設置します。
(子機は柱・壁面に設置し距離は均等に設置とする)



年度	設置か所	概要
31年度	2駅	ホーム×8台(子機)、駅事務室×1台(親機)
32年度	3駅	ホーム×8台(子機)、駅事務室×1台(親機)
33年度	3駅	ホーム×8台(子機)、駅事務室×1台(親機)
34年度	3駅	ホーム×8台(子機)、駅事務室×1台(親機)

新横浜駅・関内駅・阪東橋駅・上大岡駅については、駅改良工事でIPインターホンを設置します。

(2 前年度から変更・見直した点)

新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

34 誘導通信線更新

(1 事業目的・内容)

設置から25年経過したあざみ野線(新横浜～あざみ野)の誘導通信線のうち、特に劣化が激しい地上部約6kmについて順次更新を行います。
また、現在使用していない保安電話用のケーブルについても、順次撤去します。

誘導通信線 合計6km(上下線で計12km)のうち31年度は2km(上下線で計4km)を更新
保安電話用ケーブル 全33kmのうち5km(上大岡～横浜間)

【内訳】

	単価	数量	合計
誘導線更新		400 径間	
保安線撤去		500 径間	
経費		1 式	
消費税		1 式	
計			

(1径間=10m)



— 誘導通信線
- - - 保安電話

単位:径間

年度	31	32	33	合計
誘導線更新	400	400	400	1200
保安線撤去	500	500	500	1500

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

35 新市庁舎移転

(1 事業目的・内容)

平成32年度に予定されている新市庁舎移転に伴い、電気通信設備等の移設を行います。

主な作業内容

- ・ 鉄道電話交換機移設
- ・ ネットワーク設備移設
- ・ 新市庁舎内配線作業
- ・ 関内駅～新市庁舎間ケーブル布設
- ・ バス無線・保守無線用アンテナ移設
- ・ 花咲ビル原状回復 等

内訳 (単位:千円)

項目	金額
通信ケーブル	
光LAN(音声系)	
総合設備NW	
鉄道電話	
VHF無線	
災害対策設備	
花咲ビル原状回復	
その他	
合計	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：電気課 担当者名：大平

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

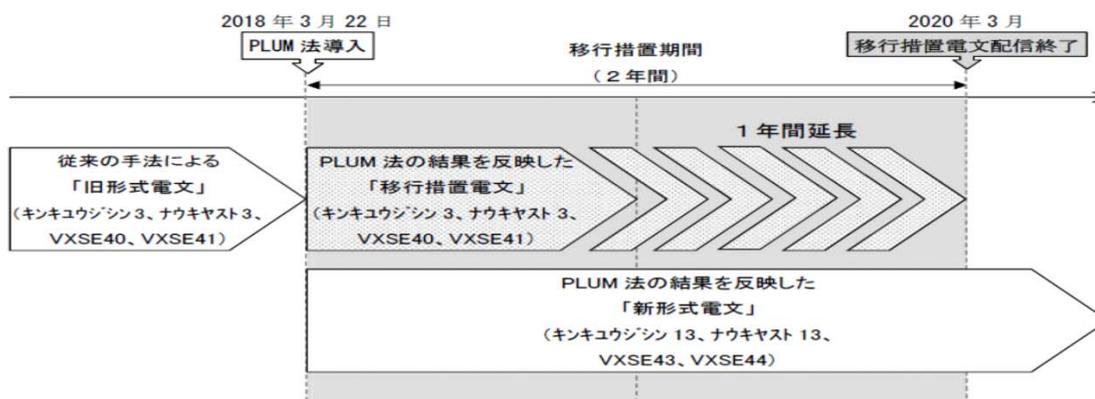
36 早期地震警報受信システム改修

(1 事業目的・内容)

1 早期地震警報受信システム改修

早期地震警報システムで使用している気象庁からの配信電文が2020年3月で配信終了するため、現在使用している移行処置電文を2020年3月までに新形式電文を受信できるようにシステムを改修する必要があります。

新形式電文は、最大電文数が現行の99電文から356電文に増えるため合わせて高速な光回線への変更が必要となります。



PLUM(プラム)法は、東北地方太平洋沖地震(3.11)発生時に離れた場所の震度精度が低かった為、今後発生する巨大地震ではより精度の高い震度予想を出来ることを目的に作られた手法です。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	3,025,489	4,008,268	△ 982,779

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
1 吉野町・阪東橋間(下り)軌道改良工事	182,384

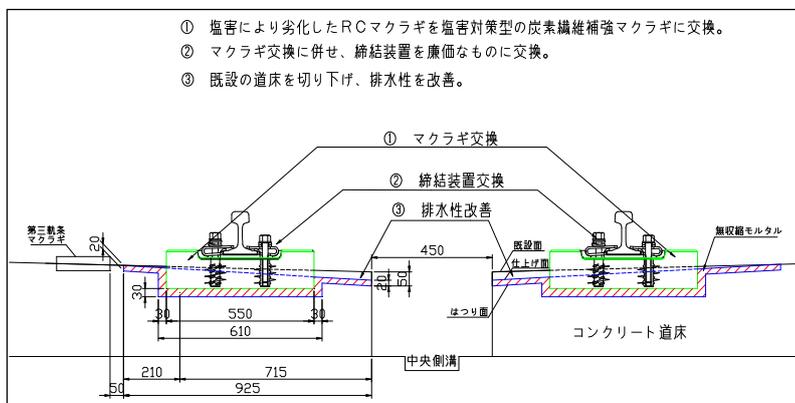
(1 事業目的・内容)

当該区間は、海に近接しているため、漏水に高い濃度の塩分が含まれており、軌道の鋼製部分の腐食により、レール、マクラギ、締結装置の損傷が著しく、列車走行の安全を確保することが困難な状況となっています。よって、新しい軌道構造をもつ軌道の更新工事を行います。

本工事は平成29年度下半期より工事を着手し、平成31年度上半期に完成予定となっています。

改良概要

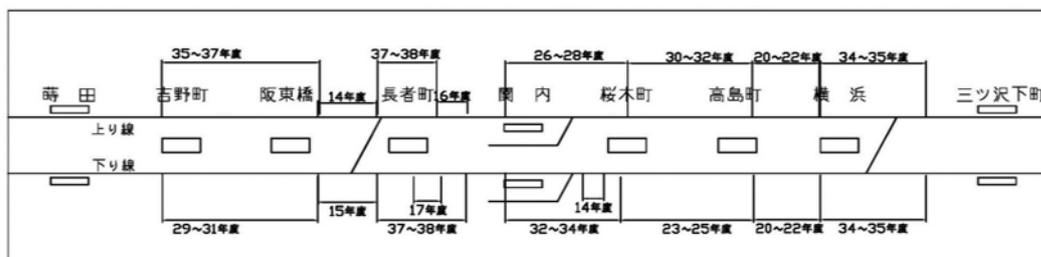
軌道の防錆能力を向上させる為、マクラギ、締結装置を交換し、コンクリート道床の排水性を改善します。



改良計画

本軌道改良事業は、塩害区間(横浜～吉野町間)の中で損傷の著しいか所を優先的に行っています。

軌道改良(道床切下げ及びRCマクラギ交換)計画図



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

■ 有 1972-20-00045(一部)
□ 無

□ 有
■ 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	479,533	182,384				661,917
債務負担設定						0

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
2 桜木町・高島町間(上り)軌道改良工事	502,338

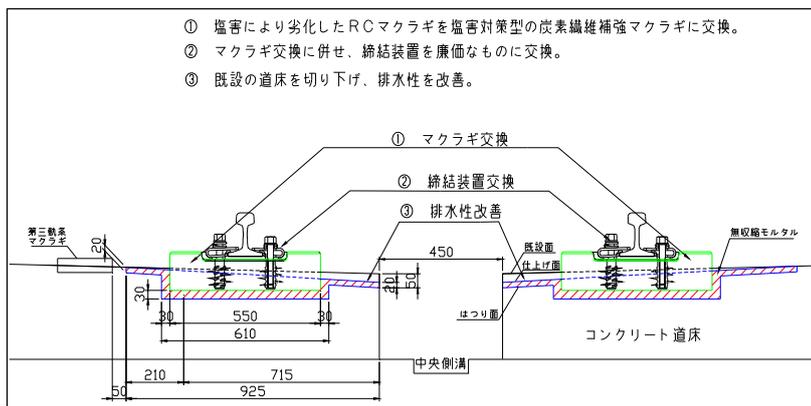
(1 事業目的・内容)

当該区間は、海に近接しているため、漏水に高い濃度の塩分が含まれており、軌道の鋼製部分の腐食により、レール、マクラギ、締結装置の損傷が著しく、列車走行の安全を確保することが困難な状況となっています。よって、新しい軌道構造をもつ軌道の更新工事を行います。

本工事は平成30年度上半期より工事を着手し、平成32年度に完成予定となっています。

改良概要

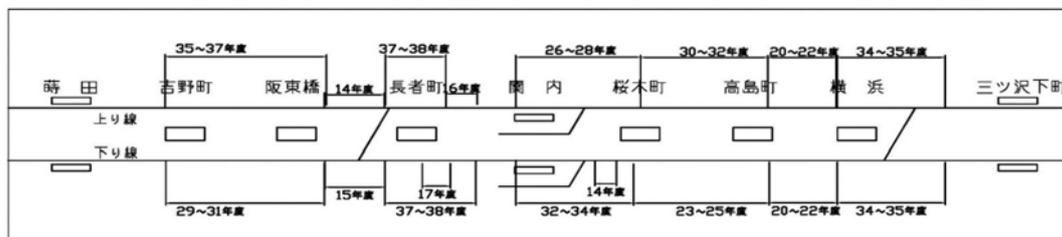
軌道の防錆能力を向上させる為、マクラギ、締結装置を交換し、コンクリート道床の排水性を改善します。



改良計画

本軌道改良事業は、塩害区間(横浜～吉野町間)の中で損傷の著しいか所を優先的に行っています。

軌道改良(道床切下げ及びRCマクラギ交換)計画図



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費	173,043	502,338	350,820			1,026,201
債務負担設定	777,305					777,305

平成31年度 建設改良費 事業計画書

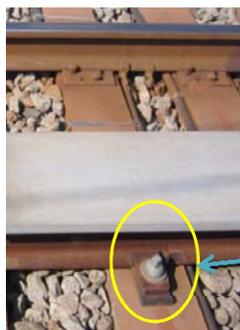
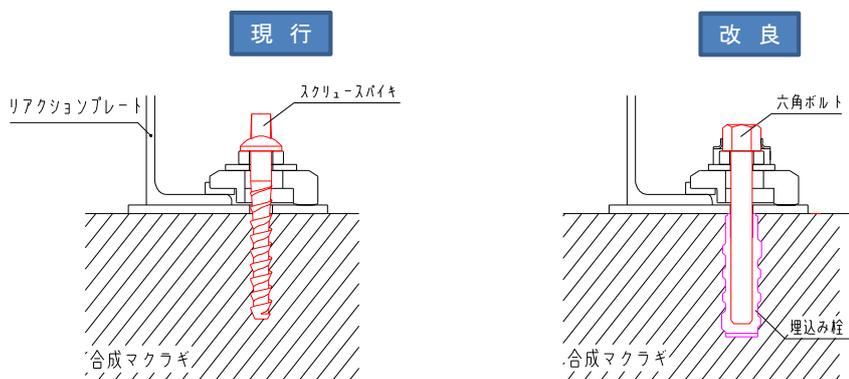
予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
3 リアクションプレート締結装置改良工事	17,342

(1 事業目的・内容)

リアクションプレート締結装置の改良は、現行のネジ釘(スクリースパイキ)で締結する構造から、埋込栓を設置して、六角ボルトで締結する構造に変更するものです。なお、平成31年度ですべてのリアクションプレートの埋込栓改良は完了します。



改良型埋込栓

既設のRP締結装置

改良計画(本数)

	H29年度	H30年度	H31年度	合計
本線	956	338	246	1,540
基地	162	276	268	706
合計	1,118	614	514	2,246

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費	19,726	17,342				37,068
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
4 分岐器改良工事	82,518

(1 事業目的・内容)

- ・新横浜8番片開き分岐器(下り線22)： 改良工事(全交換)【H31年度施工】
- ・新横浜8番片開き分岐器(上り線21イ)： 改良工事(全交換)【H32年度施工】

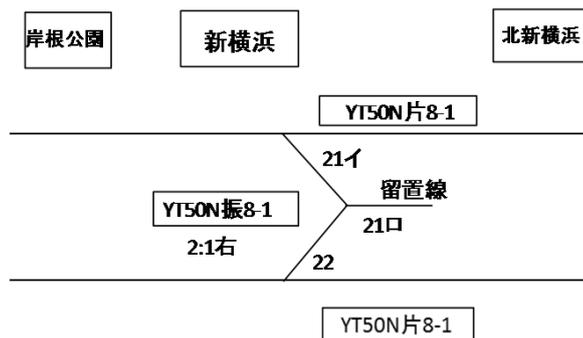
今回、全交換する新横浜8番片開き分岐器は、敷設から35年が経過しており、交換計画の25年を超えているため優先して交換を行うものです。なお、クロッシングをマンガン製から振動・騒音対策のための溶接に適したレール製とし、まくらぎを木製から耐久性の高い合成まくらぎに改良します。

(下り線22)については、平成29年度に工事発注を行いました。不調(応札者なし)となり、工事計画を再検討した結果、平成31年度に施工を繰り越します。(分岐器材料は、平成26年度に購入済み)

(上り線21イ)については、平成30年度に交換工事を予定していましたが、(下り線22)の繰り越しに伴い、平成32年度に施工いたします。なお、工事に支給する分岐器材料を平成31年度に購入します。

《交換計画》

駅名	分岐器No.	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
新横浜	22		● → 交換		
	21イ		材料購入 ● →	交換	
上永谷	36、37SC			材料購入 ● →	交換



(2 前年度から変更・見直した点)

H29年度は分岐器に付帯するレール交換を計上していましたが、H29年度レール交換工事において施工交換済のため、施工範囲を見直しました。また、H32年度に施工予定の(上り21イ)交換工事に支給する分岐器材料を計上しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		82,518				
債務負担設定						0

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
5 工事用車両購入及び更新	118,688

(1 事業目的・内容)

機材運搬車2台、作業台車1台、軌道清掃車1台を購入いたします。

機材運搬車2台購入について

機材運搬車とは、モーターカーに牽引され、工事に使用する機材料等を運搬するための工事用車両です。
 現在所有する2台の機材運搬車(T-4、T-6)については、購入から20年以上経過する旧タイプのもので、現在では「C-2」モーターカーのみ牽引可能です。
 当該モーターカーは「平沼シールド工事」の終了(平成31年度予定)をもって廃車するため、それに伴い「T-4」「T-6」も廃車となります。
 工事終了後も、引き続き別区間にて、シールド工事を発注予定のため、機材運搬車の不足が見込まれます。
 そのため、機材運搬車を2台購入します。なお、不足分のモーターカーについては平成30年度予算で購入予定です。

作業台車1台購入について

作業台車とは、モーターカーに牽引され、高所での作業をするための工事用車両です。
 1・3号線では「作業台車」を7台所有しております。(施設係工事分：4台、直営分：2台、高所作業分：1台)
 作業台車No.41について「平沼シールド工事」の終了をもって廃車を予定しております。
 そのため工事に対して所有台数が不足しますので、作業台車を1台購入いたします。

軌道清掃車1台購入について

軌道清掃車は、工事や直営作業にてレール及び道床を清掃する工事用車両です。
 現在所有の軌道清掃車について、定期的なオーバーホールの時期を迎えましたが、実施に新車購入以上の支出が必要となりました。また、故障件数も多く、メンテナンス費用が高額になっております。
 そのため、軌道清掃車の更新を行います。



債務負担について

平成30年度契約予定のC型モーターカー2台の債務負担を設定しています。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有 2009-20-00772 軌道清掃車
- 無 1996-20-00168 軌道トロ (T-6分)

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		118,688	110,113	30,000	30,000	288,801
債務負担設定	105,818	80,113				185,931

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

6 軌道管理システム及びモバイル端末ほか改良

(1 事業目的・内容)

- ・モバイル検査アプリに関するシステムの改修として「検査結果のアップロード対応」ほかを追加します。
- これにより確実な軌道状態の把握、検査結果を用いた補修計画作業の効率化に繋がり、緊急時の迅速な対応などができるようにします。
- ・サーバーOSのサービス終了に伴い更新を行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	36,847					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額																					
7 川和車両基地6両化軌道工事																						
<p>(1 事業目的・内容) グリーンライン6両化に伴う軌道工事です 留置線9本、検修庫線3本、車輪転削線1本の軌道延伸工事です。 H31年度は支給材料の契約と軌道工事詳細設計委託の契約。 支給材量はH32年度納期です。</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、現場の意見等)</p> <p>(4 除却資産の有無) (5 補助対象の有無)</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>(6 年次表)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 12.5%;">30年度予算</th> <th style="width: 12.5%;">31年度予算</th> <th style="width: 12.5%;">32年度予定</th> <th style="width: 12.5%;">33年度予定</th> <th style="width: 12.5%;">34年度以降</th> <th style="width: 12.5%;">総 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>債務負担設定</td> <td></td> <td style="text-align: center;">97,466</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額	事業費							債務負担設定		97,466				
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額																
事業費																						
債務負担設定		97,466																				

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

8 関内長者間急曲線軌道改良工事

(1 事業目的・内容)

関内～伊勢佐木長者間の曲線区間(R125)は急曲線であること、塩害区間であり排水状況が悪いことから近年重大な損傷が発生しており、保守作業に多くの労力を要しています。

現在、軌道構造の強化や、線形改良等も含めた幅広い視野から抜本的な改良検討を委託しております。検討結果を受けて、31年度詳細設計を委託し、32年度より工事を実施いたします。



R125全景写真

(2 前年度から変更・見直した点)

事業名を「R125軌道改良」としていましたが、関内長者間急曲線軌道改良工事に変更しています。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	5,832					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：内田、菊池

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
9 川和車両基地試運転線RP増設 軌道工事	0

(1 事業目的・内容)

グリーンライン川和車両基地の試運転線リアクションプレートを増設する工事です

H31年度は支給材料の契約のみ。納期はH32年度になります。工事はH32年度契約33年度完成になります。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		0				
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・渡辺

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
11 早期運行再開のための耐震補強工事	509,649

(1 事業目的・内容)

兵庫県南部地震以前に作られた構造物については、旧運輸省の通達により、耐震補強としてラーメン高架橋・橋りょうのRC柱、開削トンネルのRC中柱の補強及び橋りょうの落橋防止工を平成7～15年度に実施して完了しています。平成25年度からは、首都圏で想定されている大規模地震が発生した際でも、列車が早期に運行再開するための耐震補強を実施しています。

- 実施区間 あざみ野駅～戸塚駅区間
- 補強対象構造物 ラーメン高架橋、橋りょう、開削トンネル
- 耐震補強の進め方 耐震補強の必要性を判断(耐震性能診断設計)【H25年度より実施】
↓
耐震補強工事の詳細設計【H25年度より実施】
↓
耐震補強工事の実施【H27年度より実施】～H40まで

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
耐震調査・設計委託							～37年度
耐震工事	ラーメン・橋脚(高架部)						～40年度
	トンネル・駅部(地下部)						～40年度



▲ラーメン高架橋RC柱耐震補強実施済み状況



▲開削トンネルRC中柱耐震補強実施済み状況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

- 有 (地下鉄高速鉄道整備事業費補助)
- 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		509,649	1,451,968	752,165	4,015,182	6,728,964
債務負担設定	1,875,355	956,624				2,831,979

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 施設課 担当者名： 廣田・渡辺

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
12 大江橋シールドトンネル補修工事	11,664

(1 事業目的・内容)

関内～桜木町間の大江橋シールドトンネルは、開業後35年以上経過しており、塩害及び経年による劣化が見られるため、列車運行の安全性維持を目的として、計画的に補修を行っています。

※大江橋シールドトンネルの補修計画

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
調査・設計委託	上下線						
補修工事-1	上下線						
補修工事-2	上下線						



←
ダクタイト
セグメント
劣化状況



←
合成セグメント
劣化状況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	1,269,388	11,664				1,281,052
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 施設課 担当者名： 廣田・渡辺

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

13 宮元町シールドトンネル補修工事

(1 事業目的・内容)

吉野町～蒔田間の宮元町シールドトンネルは、開業後35年以上経過しており、経年による劣化が見られるため、列車運行の安全性維持を目的として、計画的に補修を行います。

※宮元町シールドトンネルの補修計画

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35～37年度
上り	調査・設計委託						
	補修工事						
下り	調査・設計委託						
	補修工事						



▲RCセグメントの劣化状況

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・渡辺

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
14 関内駅ほか構築補修工事	

(1 事業目的・内容)

市営地下鉄関内駅及び吉野町ポンプ室等について、塩害による劣化が著しいため、塩害対策工法を用いて止水注入や構築補修工事を実施します。また、付近のトンネルについても、鉄筋露出している箇所があるため、併せて構築補修工事を実施します。

※関内駅ほか構築補修工事

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
補修工事-1							
補修工事-2							
補修工事-3							



▲浮きがあるコンクリートを取り除いた状態



▲コンクリートの修復完了後

(2 前年度から変更・見直した点)

その3工事は、30年度に発注することとしていましたが、補修数量が増えたことにより、30年度予算で設定した債務負担設定を超過します。このため、31年度に債務負担を再設定してから発注します。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	556,756					
債務負担設定	408,573					

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・渡辺

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
15 大江橋換気塔ほか構築補修工事	

(1 事業目的・内容)

市営地下鉄の関内駅と桜木町駅の駅間にある大江橋換気塔については、塩害によりはく離・はく落が発生しており、叩き落として対処しているが、かなり劣化が進行している。そのため、塩害対策工法を用いて止水注入や構築補修工事を実施します。また、トンネル部についても、劣化が進行している箇所があるため、併せて構築補修工事を実施します。

	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
上り線				
ポンプ室				
下り線				



▲通風孔の劣化状況



▲下り線の劣化状況

(2 前年度から変更・見直した点)

30年4月に通風孔の側壁がはく落したため、31年度からの事業として構築補修工事を行います。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・渡辺

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

16 上永谷出入庫線高欄補修工事

(1 事業目的・内容)

ブルーライン上永谷出入庫線(一部本線)の高欄で老朽化によりコンクリートの剥離が発生しています。現在は叩き落として対処しているが、著しい劣化が見られる部分があり、高欄下は歩行者が通行するところもあるため、補修工事を実施します。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款： 12 高速鉄道事業資本的支出 項： 01 建設改良費 目： 05 改良費	所属： 施設課 担当者名： 廣田・渡辺

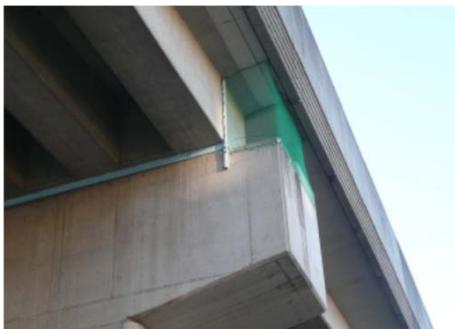
(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

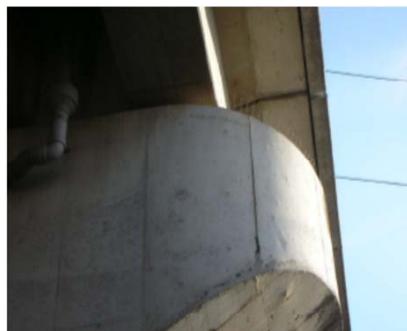
17 鳩除け工事

(1 事業目的・内容)

お客様からの鳩フン被害に対するご意見が多いため、橋梁構造物等に鳩除け設備(ネット、スパイク)を設置し、鳩害対策を行います。



▲鳩除けネット対策



▲鳩除けスパイク対策

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	3,600					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・渡辺

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算
--------	--------

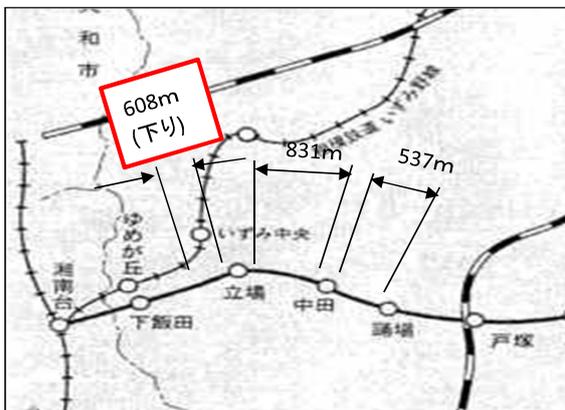
18 フローティングスラブ転落防止施設設置工事

(1 事業目的・内容)

踊場駅・下飯田駅間のトンネル区間に施工されたフローティングスラブ軌道の側道下側は、軌道面とシールドトンネル側部の間に、幅、深さ共に約80cmのすり鉢状に底部が窄まった隙間があります。保守作業において誤って転落、または、足をついた場合、非常に危険な状況になることから、転落を防止する施設を設置する工事を行います。

■フローティングスラブ転落防止施設設置工事

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
電気設備等作業台設置						
調査・工法選択委託						
調査設計委託						
転落防止施設設置工事						
		中田・踊場	中田・立場 (上り)	中田・立場 (下り)	立場・下飯田 (下り)	立場・下飯田 (上り)



▲当区間平面図



▲作業台設置状況【試験施工】

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	85,620					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・渡辺

(単位：千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
19 構造物コンクリート剥離箇所補修工事	

(1 事業目的・内容)

塩害区間で剥落の恐れのある個所の叩き落としを行ったところを計画的に補修を行うために今後の補修方法、安全性について調査設計委託を行い、その後補修工事を行います。



▲劣化状況

▼補修計画

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
設計委託			(3)H31委託		
補修工事		(1)吉野町-三ツ沢下町(上床)	(2)吉野町-三ツ沢下町(側壁)		
				H31委託分	H32委託分

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	99,236					
債務負担設定	451,023					

平成31年度 建設改良費 事業計画書

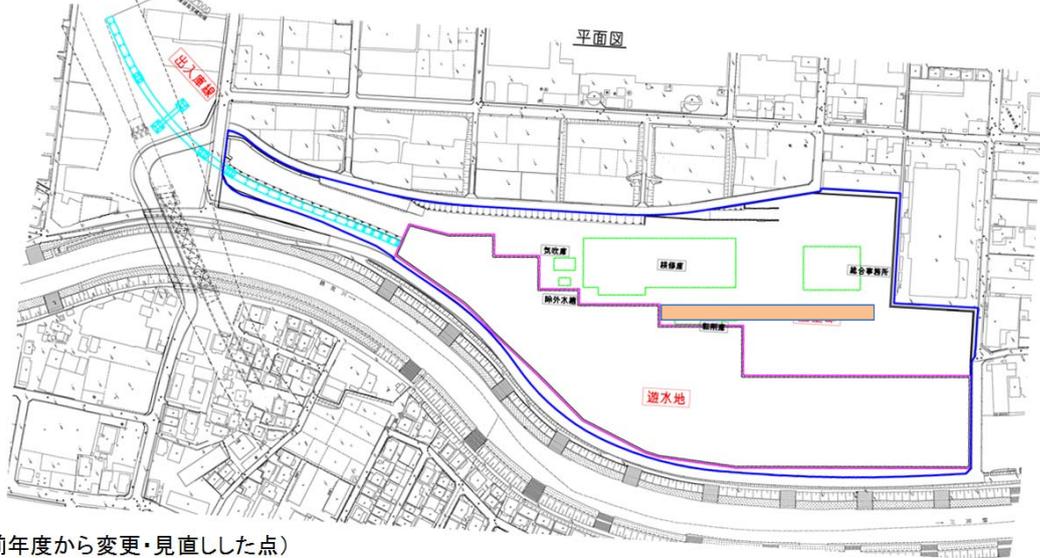
予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・渡辺

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
20 川和車両基地地盤改良工事設計	

(1 事業目的・内容)

川和車両基地は、鶴見川沿いに位置し、盛土下の現地盤に軟弱な圧密層があるため、軌道敷設部及び建物等には地盤改良あるいは杭基礎構造で対策を施していますが、その他については盛土で施工されており、経年沈下により一部の施設で変状をきたしています。
このため、グリーンラインの6両化に伴い、転削線等を延長する部分の沈下対策の工事の設計を行います。



(2 前年度から変更・見直した点)

地盤改良設計範囲

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
- 無

(5 補助対象の有無)

- 有
- 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：廣田・渡辺

(単位:千円)

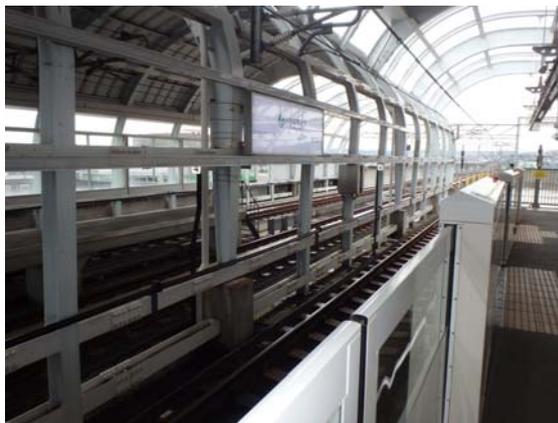
【 事 業 内 容 】	31年度予算
21 グリーンライン駅ホーム延伸設計委託	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン6両化に伴い、全10駅のホーム延伸の設計計画及び、川和町駅職員用である1・2番線ホームの延伸を行うための設計委託を行います。



川和町駅1,2番ホーム



川和町駅1,2番ホーム

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	29年度予算	31年度予算	31年度予定	32年度予定	33年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：長窪

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
22 保守管理所庁用車更新	

(1 事業目的・内容)

経年劣化により故障が発生している保守管理所施設区の庁用車を更新します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：施設課 担当者名：江田、岩下

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
23 上永谷車両基地セキュリティレベル向上事業	10,742

(1 事業目的・内容)

各車両基地では、過去の車両落書き被害等を受け、職員巡回の強化、一部のフェンスのかさ上げ、防犯カメラの設置、センサー付きライトの設置等、セキュリティ対策を実施してきたところです。

来たる東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を目的に、車両基地のセキュリティレベルをより高くして、欠車による運休・輸送障害を防ぎ、以て輸送安全を確保する必要があります。その一環として、30年度は上永谷車両基地の、公道に近接する構内通路沿いに、31年度は執務室付近の留置線のフェンスに、システムを設置することとします。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	29,265	10,742				40,007
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	6,658,340	4,402,858	2,255,482

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 阪東橋駅改良工事	713,915

(1 事業目的・内容)

阪東橋駅は、開業から40年以上が経過し、躯体からの漏水の発生や、施設や設備機器が更新時期を迎えるなど、老朽化が進んでいます。
また、順次採用が予定されている女性職員のための仮眠室を含む女性職員用施設の整備が必要となります。
そのため、平成28年度に改良設計を行い、29年度から改良工事に着手し、駅利用者へ快適な駅空間の提供を行うとともに、各種設備機器の更新を実施するものです。

単位:千円

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		----->>>設計	----->>>工事		
設計		48,393			
工 事 内 訳	建築工事		126,140	422,980	449,280
	機械設備工事		49,120	108,034	132,982
	電気設備工事		0	139,451	131,653
	小計		175,260	670,465	713,915
合計		48,393		1,559,640	

※実績

※実績

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

工事完了期限を30年度から31年度に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	861,429	713,915				1,575,344
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
2 上大岡駅改良工事	992,499

(1 事業目的・内容)

上大岡駅は、40年以上が経過し、施設や設備機器が更新時期を迎えるなど、老朽化が進んでいます。加えて、お客様の利便性向上及び駅周辺のバリアフリー化に寄与するため、京急側改札口に地上行きエレベーターの新設、また順次採用が予定されている女性職員用施設の整備等を含む駅全体のリニューアルを行います。

そのため、H29年度に基本設計、H30年度に実施設計、H31年度から改良工事に着手し、駅利用者へ快適な駅空間の提供を行うとともに、各種設備機器の更新も実施するものです。

<年次計画>

(千円)

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	計
基本計画	10,260							10,260
基本設計		61,992						61,992
実施設計			116,660					116,660
工事				992,499				992,499

※実績 ※実績 ※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)



京急連絡改札口側地上行きエレベーター(イメージ図)

(4 除却資産の有無)

有 1995-00145、1996-00165
 無

(5 補助対象の有無)

有 (地下高速鉄道整備事業時補助)
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		992,499				992,499
債務負担設定		4,411,105				4,411,105

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
3 関内駅改良工事	1,307,447

(1 事業目的・内容)

関内駅は、開業から約40年が経過し、躯体からの漏水の発生や、施設や設備機器が更新時期を迎えるなど、老朽化が進んでいます。そのため、H28年度から改良工事に着手し、駅利用者へ快適な駅空間の提供を行うとともに、各種設備機器の更新も実施するものです。

■工事費

単位:千円

	H28	H29	H30	H31	H32	計
建築工事(躯体補修工事含む)	3,580	286,840	595,343	846,000	382,250	2,114,013
空調衛生設備工事	0	107,520	287,094	231,788	98,216	724,618
電気設備工事	0	41,110	237,205	229,659	84,794	592,768
計	3,580	435,470	1,119,642	1,307,447	496,096	3,431,399

※実績 ※実績 ※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	1,119,642	1,307,447	496,096			2,923,185
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
4 新横浜駅改良工事	883,234

(1 事業目的・内容)

新横浜駅では、神奈川東部方面線との接続により、利用する旅客数や流動、周辺地域などにおいて大幅な変化が予想されます。本工事は、このような神奈川東部方面線接続後に予想される旅客等の変化と、横浜の玄関口としてお客様を快適な空間でお迎えできるよう、レイアウト変更や内装改修を行うものです。

については、平成30年度からの前期工事では手洗所改修などのバリアフリー設備の充実や老朽化した設備等の更新を行い、平成32年度(予定)からの後期工事では神奈川東部方面線との接続に伴う改修工事を実施します。

単位:千円

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
					オリンピック		ST線開業
基本設計	基本設計						
実施設計	実施設計						
工事(前期工事)			工事				
工事(前期その2工事)			工事				
工事(後期工事)					工事		
前期工事	建築工事		83,829	107,780	70,794		
	機械設備工事		75,809	97,469	64,022		
	電気設備工事		4,845	29,071	21,482		
	工事費	-	164,483	234,320	156,298	-	-
前期その2工事	建築工事		0				
	機械設備工事		0				
	電気設備工事		0				
	工事費	-	0			-	-
	昇降機工事	-	0			-	-
合計			164,483	883,234			

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)
前期その2工事を追加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	537,371	883,234				
債務負担設定	1,340,078	320,994				1,661,072

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
5 手洗所改良工事その他工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなっているセンター北駅、男女旅客トイレの改修、特定天井の対応、床面滑り止め加工、エスカレーター既存廻り及び券売機小窓設置をH31年度設計、H32年度工事を行います。

	H31年度	H32年度
手洗所改良・特定天井対応・ エスカレーター既存廻り・床面 滑り止め・券売機小窓設置	設 計	工 事
設計費		
工事費		
計		



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
6 ホーム待合所設置工事(蒔田駅、港南中央駅)	62,400

(1 事業目的・内容)

お客様へ快適な駅空間を提供するため、全駅の冷房化に計画的に取り組みます。主要駅については全館冷房方式を採用していましたが、中間駅では冷房付き待合所を設置する方針で進めています。

平成30年度から工事着手している蒔田駅、港南中央駅について引き続き工事を行い、平成31年夏季に供用を開始します。

【現在の冷房化実施駅】

BL)あざみ野、センター北、センター南、仲町台、新羽、新横浜、岸根公園、片倉町、三ツ沢上町、三ツ沢下町、横浜、桜木町、関内、弘明寺、上大岡、戸塚、踊場、立場、湘南台

GL)日吉、都筑ふれあいの丘、川和町、中山

冷房化率:57.5%(BL19駅、GL4駅)

	平成30年度	平成31年度
設計	蒔田、 港南中央	
工事		蒔田、 港南中央
設計費	7,789	
工事費	62,312	62,400
合計	70,101	62,400

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費	70,101	62,400				132,501
債務負担設定	103,852					103,852

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
7 ホーム待合所設置工事(設計・工事)(北山田駅)	20,759

(1 事業目的・内容)

お客様へ快適な駅空間を提供するため、全駅の冷房化に計画的に取り組みます。主要駅について全館冷房方式を採用していましたが、中間駅では冷房付き待合所を設置する方針を進めていきます。

平成31年度は、北山田駅について、設計・工事着手し、平成32年夏季の供用開始を目指します。

【現在の冷房化実施駅】

BL)あざみ野、センター北、センター南、仲町台、新羽、新横浜、岸根公園、片倉町、三ツ沢上町、三ツ沢下町、横浜、桜木町、関内、弘明寺、上大岡、戸塚、踊場、立場、湘南台

GL)日吉、都筑ふれあいの丘、川和町、中山

冷房化率:57.5%(BL19駅、GL4駅)

	平成31年度	平成32年度
設計	北山田	
工事		北山田
設計費		
工事費		33,827
合計	20,759	33,827

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		20,759	33,827			54,586
債務負担設定		33,827				33,827

平成31年度 建設改良費 事業計画書

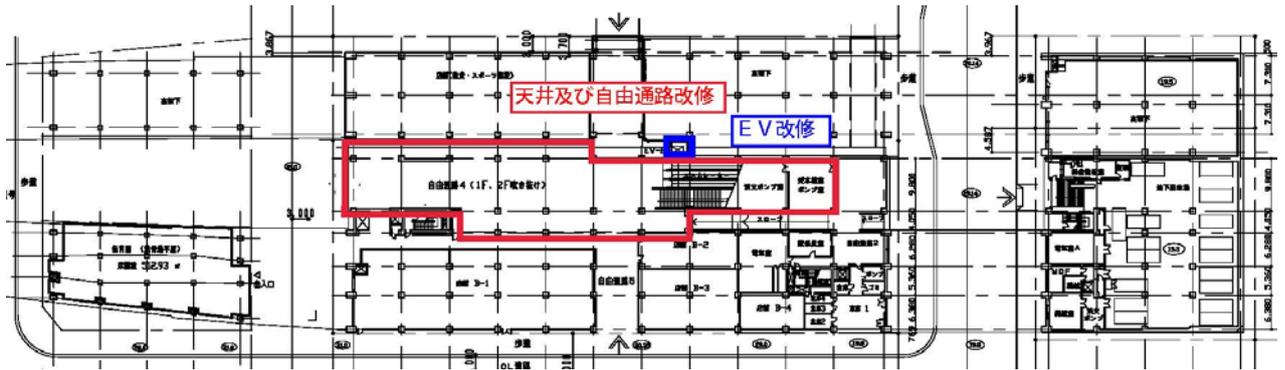
予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
8 センター南駅天井その他改修工事	278,575

(1 事業目的・内容)

センター南駅の天井については、国土交通省告示第771号(平成25年8月5日)により特定天井に該当しており、建築基準法施行令第39条第3項の規定に基づき必要な対策を行わなければなりません。センター南駅においては、バスポートセンターの設置工事が予定されており、それに合わせて天井及び自由通路の改修を行います。
また、既存遡及のため、エレベーター1基の改修を行います。



センター南駅1階 平面図

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
平成25年国土交通省告示第771号
建築基準法施行令第39条第3項

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		278,575				278,575
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
9 駅案内サイン改修工事	261,903

(1 事業目的・内容)

現状の駅案内サインの基本的な考えは、平成3年のあざみ野線開業時に策定されたもので、高齢化が進むにつれお客様のニーズに対応できなくなっています。特に一次開業駅は当時の筐体の表示面が小さく、情報量も多いため、文字が小さく読みにくい状況です。

そこで、平成25年度、お客様により分かりやすく利用しやすい駅へと整備することを目的として、駅案内サインの基準となるサインマニュアルを見直し、全面改定しました。

新たなサインマニュアルの基準に基づき改修することで駅利用者の利便性向上を図ります。

【年次計画】

実施駅	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
					ラグビーW杯	オリパラ		
弘明寺	設計	工事						
戸塚、港南中央、蒔田、吉野町、伊勢佐木長者町		設計	工事					
高島町、下永谷、舞岡			設計	工事				
あざみ野、センター北 センター南、横浜、桜木町 湘南台			設計 横浜・桜木町	設計 あざみ野・センター北 センター南・湘南台	工事 あざみ野・センター北 センター南・湘南台			
中川、仲町台 新羽、北新横浜			設計 仲町台・北新横浜		設計 中川・新羽	工事		
岸根公園、片倉町 三ツ沢上町 三ツ沢下町						設計	工事	
踊場、中田、立場、下飯田							設計	工事
関内、新横浜、阪東橋、上大岡、上永谷	(全体改良時に実施)							
設計費	2,268	9,720	7,992	20,244				
工事費	15,180	22,792	238,771	150,103	261,903			
計	17,448	32,512	246,763	170,347				

※実績 ※実績 ※実績 ※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	150,103	261,903				412,006
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
10 駅案内サイン改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

現状の駅案内サインの基本的な考えは、平成3年のあざみ野線開業時に策定されたもので、高齢化が進むにつれお客様のニーズに対応できなくなっています。特に一次開業駅は当時の筐体の表示面が小さく、情報量も多いため、文字が小さく読みにくい状況です。

そこで、平成25年度、お客様により分かりやすく利用しやすい駅へと整備することを目的として、駅案内サインの基準となるサインマニュアルを見直し、全面改定しました。

新たなサインマニュアルの基準に基づき改修することで駅利用者の利便性向上を図ります。

【年次計画】

実施駅	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
					ラグビーW杯	オリパラ		
弘明寺	設計	工事						
戸塚、港南中央、蒔田、吉野町、伊勢佐木長者町		設計	工事					
高島町、下永谷、舞岡			設計	工事				
あざみ野、センター北 センター南、横浜、桜木町 湘南台			設計 横浜・桜木町	設計 あざみ野・センター北 センター南・湘南台	工事			
中川、仲町台 新羽、北新横浜			設計 仲町台・北新横浜		設計 中川・新羽	工事		
岸根公園、片倉町 三ツ沢上町 三ツ沢下町						設計	工事	
踊場、中田、立場、下飯田							設計	工事
関内、新横浜、阪東橋、上大岡、上永谷	(全体改良時に実施)							
設計費	2,268	9,720	7,992	20,244				
工事費	15,180	22,792	238,771	150,103	261,903			
計	17,448	32,512	246,763	170,347				

※実績 ※実績 ※実績 ※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	20,244					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
11 駅美観向上に伴う内装改修工事	

(1 事業目的・内容)

市営地下鉄駅構内においては、①内装材の老朽化、②広告や掲示物の混在、③掲示板の劣化等の課題があります。一方、今後東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、国内外から多くの旅行者、関係者が訪れると考えられ、お客様を快適な駅空間でお迎えできるよう、駅空間の美観及び快適性の向上が必要となっています。

平成29年度には、基本構想及び基本計画を策定し、対象駅等を横浜駅、桜木町駅、あざみ野駅、戸塚駅、及び湘南台駅に決定しました。

平成30年度は、基本設計・実施設計を行い、平成31年度に横浜駅の改修工事、桜木町駅のトイレブースの更新及び洋便器化を行い、あざみ野駅、戸塚駅、及び湘南台駅では、券売機廻りのリニューアルを行います。

また、横浜駅については、平成29年度に設計した案内サイン改修工事もあわせて実施します。

<年次計画表>

業務	H29	H30	H31
基本構想・基本計画	計画		
基本設計・実施設計		設計	
工事			工事

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
12 GL6両化に伴う改修工事(設計)	74,424

(1 事業目的・内容)

グリーンラインの乗車人員は増加傾向にあり、混雑率が年々増加しています。混雑緩和対策として、輸送力の増強を目的とした6両化の編成を計画していますが、それに伴いホーム延長部分および車両基地の改修が必要となります。H30年度に基本設計を実施し、H31年度に実施設計を行います。H32年度から改修工事に着手し、グリーンラインの輸送力増強に向けて駅施設、車両基地の整備を実施していきます。

【税込(千円)】

工種	H30年度	H31	H32	H33
	基本設計	基本設計・実施設計	実施設計・工事	工事
建築・設備・電気(駅ホーム延伸)				
建築・設備・電気(検修庫増築)				
車両検修設備工事				
ホームドア増設				
信号・通信工事				
車両基地軌道工事				
電車線工事				
変電所容量増設				
計	51,756	74,424		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	51,756	74,424				
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
13 湘南台駅ほか1駅職員用施設改修工事	330,077

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの各駅においては、女性用職員用施設(手洗所、更衣室、シャワー室)等が未整備の状況です。近年、女性駅務員が増えており、これに対応するため女性職員用施設の整備が必要となっております。

平成31年度につきましては、湘南台駅及び立場駅において事務室系空調機更新工事が予定されておりますので、併せて既存の水周りエリアに女性職員用施設を設置する工事を行います。

(1)現況

		手洗所	ロッカー室	シャワー室	洗面所
湘南台駅	男性	あり	あり	共用	共用
	女性	あり	あり		
立場	男性	あり	あり	共用	共用
	女性	あり	あり		

(2)事業スケジュール

(単位:千円)

実施駅	H28	H29	H30	H31	H32
中川	設計	工事			
踊場、新羽		設計	工事		
湘南台、立場			設計	工事	
戸塚				設計	工事
関内、新横浜、阪東橋、上大岡、上永谷	駅改良工事にて整備				
設計費	432	2,204	14,751		※1
工事費		24,405	176,859	※2 330,077	※2
計	432	26,609	191,610		

※実績 ※実績 ※予算

※1 設9事務室系空調機更新工事(設計)の戸塚駅は建15戸塚駅職員用施設改修工事(設計)に含む。

※2 設8事務室系空調機更新工事の湘南台駅及び立場駅は建14湘南台駅ほか1駅職員用施設改修工事に含む。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	176,859	330,077				506,936
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
14 戸塚駅職員用施設改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

ブルーラインの各駅においては、女性用職員用施設(手洗所、更衣室、シャワー室)等が未整備の状況です。近年、女性駅務員が増えており、これに対応するため女性職員用施設の整備が必要となっております。

平成31年度につきましては、戸塚駅において事務室系空調機更新工事の設計が予定されておりますので、併せて既存の水周りエリアに女性職員用施設を設置する改修の設計を行います。

(1)現況

		手洗所	ロッカー室	シャワー室	洗面所
戸塚駅	男性	あり	あり	共用	共用
	女性	なし	あり		

(2)事業スケジュール

(単位:千円)

実施駅	H28	H29	H30	H31	H32
中川	設計	工事			
踊場、新羽		設計	工事		
湘南台、立場			設計	工事	
戸塚				設計	工事
関内、新横浜、阪東橋、上大岡、上永谷	駅改良工事にて整備				
設計費	432	2,204	14,751		※1
工事費		24,405	176,859	330,077	※2
計	432	26,609	191,610		

※実績 ※実績 ※予算

※1 設9事務室系空調機更新工事(設計)の戸塚駅は建15戸塚駅職員用施設改修工事(設計)に含む。

※2 設8事務室系空調機更新工事の湘南台駅及び立場駅は建14湘南台駅ほか1駅職員用施設改修工事に含む。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	14,751					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
15 段鼻改修工事	

(1 事業目的・内容)

本工事は、駅の階段における弱視の方に対する踏み外し防止のための工事です。1次開業及び2次開業の駅においては、階段の段鼻(踏面の先端)と踏面が一枚石で造られているため、段差の識別が付きづらくなっています。これまでは、段鼻に警告シートを貼っていましたが、数年で剥がれてしまうため、メンテナンスと美観の点で課題となっておりました。そこで貼物ではなく階段段石に溝を彫り、硬化の速いエポキシ樹脂を流し込む工事を行い、耐久性の向上を図ります。

●更新実績・計画

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	実施済	実施済	実施済	実施予定	実施予定
駅 名	戸塚・桜木町駅	長者町・吉野町	蒔田駅	港南中央駅(一部)	港南中央駅(残り)
場 所	各出入口・連絡階段	各出入口・連絡階段	各出入口・連絡階段	各出入口・連絡階段	各出入口・連絡階段



阪東橋駅改修例



蒔田駅現状

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度までは、段鼻改修部を階段の両端部としていたが、「バリアフリー整備ガイドライン」(国土交通省監修)により本年度から階段全幅を改修範囲とした。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	3,008					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
16 止水板改修工事	

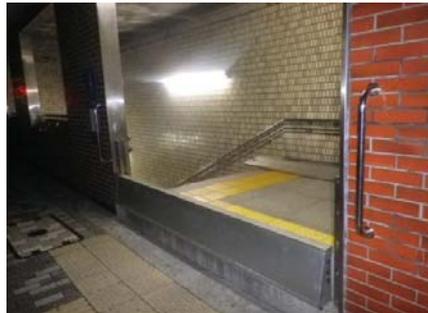
(1 事業目的・内容)

洪水により浸水する恐れのある地下鉄駅の出入口については、止水板を整備しています。老朽化した止水板の更新と同時に軽量化を行い、より確実かつ迅速に設置できるようにすることで駅の安全性を高めます。

本工事は4か年に分けて行い、平成31年度は、4駅13か所の更新を行います。また、H29年度に更新を行った止水板の格納スペースを確保します。

○事業スケジュール

	H31	H32	H33	H34
実施駅	蒔田 伊勢佐木長者町	港南中央 弘明寺 桜木町 横浜 岸根公園	三ツ沢下町 三ツ沢上町 片倉町	下永谷 舞岡 戸塚 北新横浜 中田
箇所数	8か所	16か所	12か所	9か所



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有 2005-20-0002
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
17 片倉町駅ほか改修工事(設計)	9,480

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなっている各駅、変電所及び保守管理所の修繕事項をまとめて平成31年度に設計を行い、平成32年度に工事を行います。

○改修内容

- ①あざみ野駅衝突防止柵設置、券売機横小窓設置
- ②片倉町駅衝突防止柵設置
- ③三ツ沢上町衝突防止柵設置
- ④三ツ沢下町衝突防止柵設置
- ⑤中川駅券売機横小窓設置
- ⑥川和車両基地総合事務所内装改修

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		9,480				9,480
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
18 消費税率改定に伴う運賃表等改修	

(1 事業目的・内容)

平成31年10月に予定されている消費税率改定により行われる市営地下鉄運賃の改訂に伴い、駅構内に設置されている運賃表を始めとした旅客案内サインについて、記載内容の変更が生じますので、新運賃制度に適した表示とするための改修を行います。

(1) 改修サイン

- ・運賃表(運賃表、回数券、ICカード対応表)
- ・乗車券のご案内/定期券のご案内
- ・点字運賃表
- ・お客様サービスセンター内サイン(区界表、地下鉄定期券運賃表、地下鉄バス定期券運賃表等)

(2) 平成26年度改修状況



改修前



改修後



仮設中

(2) 前年度から変更・見直した点

(3) 根拠法令・規程、現場の意見等

(4) 除却資産の有無

- 有
 無

(5) 補助対象の有無

- 有
 無

(6) 年次表

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
19 エレベーターのリニューアル	

(1 事業目的・内容)

お客様により安全・安心かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

①湘南台駅 1基(BL) ラチ内EV (平成11年9月供用開始)

■ エレベーターリニューアル計画

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
* 関内 (2基)	工事			
戸塚 (2基)		工事		
* 阪東橋 (2基)		工事		
あざみ野 (3基)	設計	工事		
湘南台 (1基)		設計	工事	
* 新横浜 (5基)		設計		工事
新羽 (2基)			設計	工事
* 上大岡 (4基)		設計		工事
設計費	4,968	1,412		
工事費	131,394	131,846		
計	136,362	133,258		

※実績

※予算

* 印は改良工事にて予算計上

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 湘南台EV:1999-20-01318
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	131,846					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
20 エレベーターのリニューアル(設計)	

(1 事業目的・内容)

お客様により安全・安心かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、改正されている建築基準法の適合化を含め、計画的なエレベーターの更新を行います。

①新羽駅 2基(BL) ラチ内EV (平成5年3月供用開始)

■ エレベーターリニューアル計画

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
関内 (2基)	工事			
戸塚 (2基)		工事		
* 阪東橋 (2基)		工事		
あざみ野 (3基)	設計	工事		
湘南台 (1基)		設計	工事	
* 新横浜 (5基)		設計		工事
新羽 (2基)			設計	工事
* 上大岡		設計		工事
設計費	4,968	1,412		
工事費	131,394	131,846		
計	136,362	133,258		

※実績

※予算

* 印は改良工事にて予算計上

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	1,412					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
21 エスカレーターのリニューアル	

(1 事業目的・内容)

お客様に安全かつ快適な設備をご利用いただき続けていくため、設置後長期間(30年)経過したブルーラインのエスカレーターを計画的に更新・リニューアルを実施します。

現在、ブルーラインには、稼動年数30年を超えるエスカレーターが32台あります。

(高島町駅6台、桜木町駅1台、下永谷駅2台、三ツ沢下町駅7台、三ツ沢上町駅8台、片倉町駅5台、岸根公園駅2台、新横浜駅1台)

これらのエスカレーターは、今後、経年劣化によって機能が低下し、さらに老朽化していく状況にあります。機能維持に要する保守部品の確保も困難になることが予想されるため、各駅各機種に応じた設備機能の改善とバリアフリー対応機能を付加したエスカレーターへのリニューアルを実施し、安全性や快適性・省エネ性を向上させます。

■ エスカレーターリニューアル計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	備 考
工事施工	高島町駅 2基			3号機・5号機
		高島町駅 2基		1号機・6号機
			高島町駅 2基	2号機・4号機

※平成31年度実施予定駅

- ①高島町駅 1号機(昭和51年設置)※ラチ内 B1F~B2F
- ②高島町駅 6号機(昭和51年設置)※ラチ内 B3F~B4F

※エスカレーターリニューアル実施済の駅

- ①平成26年 桜木町駅 2基
- ②平成28年 関内駅 4基
- ③平成29年 横浜駅 2基

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 高島町駅:エスカレーター2台
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	108,044					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
22 新羽駅空調機更新工事	

(1 事業目的・内容)

新羽駅の駅事務室・乗務管理所諸室等の室温を適切に保つために設置されている、空冷チリングユニットなどの空調設備は、設置から20年以上が経過し、故障が多発していることに加え、故障でなくとも室温を適切に保つことができない状態です。

そのため、空冷チリングユニットなどの空調設備を更新する工事を行います。

なお、空冷チリングユニットは故障等の影響範囲が大きく、故障時には長期間の運転停止となるため空冷ヒートポンプパッケージ形空調機に更新します。

○年次計画表

平成30年度	平成31年度
設計	工事
5,310	

※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
23 信号機器室系空調機更新工事	299,306

(1 事業目的・内容)

列車運行を担う信号機器室には、各信号機器の発生熱を回収し、室内環境を維持するため、専用の冷房装置を設置しております。伊勢佐木長者町駅の機器室空調については、法定耐用年数の15年を超えたもので、現在では故障率が増加傾向にあります。

また、平成14年以前に設置した空調機の大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護、地球温暖化防止対策を目的に2020年で生産全廃の予定となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから駅単位での空調機の計画的な更新を行います。

更新計画

駅名	設置年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	備考
上永谷	平成7年	<input type="checkbox"/> 工事	<input checked="" type="checkbox"/> 工事		
湘南台	平成9年	<input type="checkbox"/> 工事			
伊勢佐木長者町	平成4年	<input type="checkbox"/> 設計	<input checked="" type="checkbox"/> 工事		
弘明寺	平成12年		<input type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事	
高島町	平成4年		<input type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事	
三ツ沢上町	昭和60年		<input type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事	
設計		5,243			
工事		212,876	299,306		

※予算

その他、本件では、電気機器の保全を目的とした仲町台駅電気室・信号器室への空調機の新設、作業中の熱中症防止を目的とした新羽検修庫への空調機の新設及び不具合によりホームへ汚臭が漏れだしている横浜駅污水ポンプ室の換気の改善工事を行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有 1972-20-0032,1976-20-00039,1986-20-00014 有
 無 1993-20-00103 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	212,876	299,306				512,182
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
24 信号機器室系空調機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

列車運行を担う信号機器室には、各信号機器の発生熱を回収し、室内環境を維持するため、専用の冷房装置を設置しています。弘明寺駅、高島町駅の機器室空調においては、法定耐用年数15年を超えたもので、現在では故障率が増加傾向にあります。

また、機能維持のための保守部品の製造中止で代替部品での対応となり、機能が低下する場合もあることから、冷房装置の不良による室温上昇につながる恐れを回避するため、空調設備の更新を行います。

さらに平成14年以前に設置した空調機の大半は、冷媒に指定フロンR22を使用しています。指定フロンはオゾン層の保護、地球温暖化防止対策を目的に2020年で生産全廃の予定となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから駅単位での空調機の計画的な更新を行います。

更新計画

駅名	設置年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	備考
上永谷	平成7年	<input type="checkbox"/> 工事	<input type="checkbox"/> 工事		
湘南台	平成9年	<input type="checkbox"/> 工事			
伊勢佐木長者町	平成4年	<input type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事		
弘明寺	平成12年		<input checked="" type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事	
高島町	平成4年		<input checked="" type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事	
三ツ沢上町	昭和60年		<input checked="" type="checkbox"/> 設計	<input type="checkbox"/> 工事	
設計		5,243			
工事		212,876	299,306		

※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	5,243					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
25 事務室系空調機更新工事	261,677

駅の事務室系の空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室といった使用用途によってゾーニングしており、各系統ごと駅の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。これまでの空調機更新は、年式の古いもの、また故障率の高いものを順次部分的に更新を行ってきたため、各所に法定耐用年数15年を超えた空調機が存在します。また設置から20年を経過した空調機は故障率が増加傾向にあります。

さらに平成14年以前に設置した空調機のお大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護また地球温暖化防止対策を目的に2020年で生産全廃の予定となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから駅単位での空調機の計画的な更新工事を行います。

■ 空調機更新計画

	設置年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
阪東橋	平成2年	工事※1	工事※1	
踊場	平成10年	工事※2		
センター南	平成5年	工事	工事	
北新横浜	平成5年	工事		
上大岡	平成7年	設計	工事※3	工事※3
下飯田	平成11年	設計	工事	
立場	平成10年	設計	工事※4	
中田	平成10年	設計	工事	
下永谷	平成13年	設計		工事
三ツ沢下町(券売機室、案内所)	平成14年	設計	工事	
横浜駅(出札・仮眠室)	平成8年		設計	工事
戸塚駅	平成元年		設計	工事
設計費	—	17,078		
工事費	—	202,433	261,677	
計	—	219,511		

★予算

※1 阪東橋駅の工事費は「阪東橋駅改良工事」で予算計上

※2 踊場駅の工事費は「踊場女性施設整備工事」で予算計上

※3 上大岡駅の工事費は「上大岡駅改良工事」で予算計上

※4 立場駅の工事費は「湘南台駅ほか1駅女性施設整備工事」で予算計上

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

 有
 無

 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費	202,433	261,677				464,110
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
26 事務室系空調機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅の事務室系の空調は、事務室・仮眠室・券売機室・電気諸室といった使用用途によってゾーンニングしており、各系統ごと駅の規模や特性に見合う空調方式にて冷暖房装置を設置しています。これまでの空調機更新は、年式の古いもの、また故障率の高いものを順次部分的に更新を行ってきたため、各所に法定耐用年数15年を超えた空調機が存在します。また設置から20年を経過した空調機は故障率が増加傾向にあります。

さらに平成14年以前に設置した空調機の大半は、冷媒に指定フロンR22が使用されています。指定フロンは、オゾン層の保護また地球温暖化防止対策を目的に2020年で生産全廃の予定となっており、補充用冷媒の確保も困難な状況になるため、指定フロンから代替フロンへの機器更新が不可欠となります。これらのことから駅単位での空調機の計画的な更新工事を行います。

■ 空調機更新計画

	設置年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
阪東橋	平成2年	工事	工事	
踊場	平成10年	工事		
センター南	平成5年	工事	工事	
北新横浜	平成5年	工事		
上大岡	平成7年	設計※1	工事	工事
下飯田	平成11年	設計	工事	
立場	平成10年	設計※2	工事	
中田	平成10年	設計	工事	
下永谷	平成13年	設計		工事
三ツ沢下町(券売機室、案内所)	平成14年	設計	工事	
横浜駅(出札・仮眠室)	平成8年		設計	工事
戸塚駅	平成元年		設計※3	工事
設計費	—	17,078		
工事費	—	202,433	261,677	
計	—	219,511		

★予算

※1 上大岡駅の設計費は「上大岡駅改良工事(設計委託)」で予算計上

※2 立場駅の設計費は「湘南台駅ほか1駅職員用施設改修工事(設計委託)」で予算計上

※3 戸塚駅の設計費は「戸塚駅職員用施設改修工事(設計委託)」で予算計上

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

- 有
 無

(5 補助対象の有無)

- 有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	17,078					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
27 動力監視盤改修工事	64,053

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成5年3月に開業したあざみ野線各駅に設置した監視盤では、現在、稼働年数の経過による劣化が進行しており、故障部品が製造中止になるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

【年次計画】

実施駅(予定)	H30 (予定)	H31 (予定)	H32 (予定)	H33 (予定)	H34 (予定)	H35 (予定)
中川		●工事				
中山		□設計 ●工事				
センター南	●工事					
仲町台			●工事			
新羽	□設計			●工事		
北新横浜	□設計				●工事	
戸塚		□設計	●工事			
踊場		□設計		●工事		
中田			□設計		●工事	
立場						●工事
下飯田				□設計		●工事
湘南台				□設計		●工事
設計費	1,365					
工事費	66,280	64,053	-	-	-	-
各年度計	67,645					

※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	66,280	64,053				130,333
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
28 動力監視盤改修工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

地下鉄各駅及び車両基地には、換気空調設備・給排水消火設備・昇降機設備の運転・故障状況の管理監視また各設備のスケジュール自動運転を行うための、動力監視盤を設置しています。特に平成5年3月に開業したあざみ野線各駅に設置した監視盤では、現在、稼働年数の経過による劣化が進行しており、故障部品が製造中止になるなど、復旧に遅れが生じ、監視機能を維持できなくなる可能性があります。この状態を放置し、監視盤が起動しなくなった場合、特にエレベーター・エスカレーター監視や空調スケジュール運転ができないなど、駅業務等に多大な支障を及ぼすため、計画的な更新を行います。

【年次計画】

実施駅(予定)	H30 (予定)	H31 (予定)	H32 (予定)	H33 (予定)	H34 (予定)	H35 (予定)
中川		●工事				
中山		□設計 ●工事				
センター南	●工事					
仲町台			●工事			
新羽	□設計			●工事		
北新横浜	□設計				●工事	
戸塚		□設計	●工事			
踊場		□設計		●工事		
中田			□設計		●工事	
立場			□設計			●工事
下飯田				□設計		●工事
湘南台				□設計		●工事
設計費	1,365					
工事費	66,280	64,053	-	-	-	-
各年度計	67,645					

※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	1,365					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
29 排水ポンプほか更新工事	

(1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年~30年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあり、また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

■ポンプ更新計画(更新工事は動力制御盤の更新工事を含む)

対象機器	H29年度設計・平成30年度工事	H30年度設計・H31年度工事	H31年度設計・H32年度工事
排水ポンプ	長者町 2台(平成6年) 高島町 1台(平成11年) 弘明寺 2台(平成6年) 片倉町 1台(平成11年)	高島町 2台(平成11年) 舞岡 2台(平成7年) 北山田 2台(平成19年) 高田 2台(平成19年)	吉野橋第1 3台(平成7年) 吉野橋第2 3台(平成8年) 鶴見第1 2台(昭和59年) 鶴見第2 2台(昭和59年) あざみ野 2台(平成3年) 新横浜 2台(昭和59年)
給水ポンプ	-	上永谷 3台(平成10年)	新羽 2台(平成3年) 中川
汚水ポンプ	あざみ野 2台(平成3年) 中川 2台(平成3年)	長者町第1 2台(平成6年) 吉野町 2台(平成6年) 蒔田 4台(平成7年)	北新横浜 2台(平成3年) 高島町 2台(平成11年)
中水ポンプ	上永谷検修区 2台(平成9年) 上永谷修繕工場 2台(平成16年)	舞岡 2台(昭和57年) 三ツ沢下町(平成14年) 下永谷 2台(平成13年)	川和車両基地 2台(平成19年)
攪拌機	桜木町 1台(平成19年) 蒔田 1台(平成19年)	港南中央 1台(平成19年) 高島町 1台(平成19年) 蒔田 1台(平成7年) 北新横浜 1台(平成3年)	
予算年度	H30年度	H31年度	H32年度
設計費	5,422		
工事費	63,261		
計	68,683		

※実績

※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

ポンプの劣化・故障状況により対象ポンプを見直し。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	48,956					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
30 排水ポンプほか更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅には、給水用、汚水用、中水(トイレ洗浄)用、またトンネル勾配に合わせ設置する排水(湧水)用ポンプがあり、各ポンプは設置から10年~30年以上が経過し、ポンプ本体及び配管・付属装置が老朽化しています。排水ポンプの突発的な故障は、湧水の排出ができなくなり列車の運行に支障を来す恐れがあり、また給水、汚水、中水ポンプの故障により、駅機能(主にトイレの使用不可)が低下するため、各ポンプが必要な機能を発揮できる状態に維持するため、ポンプ及び付属装置の更新工事を行います。

■ポンプ更新計画(更新工事は動力制御盤の更新工事を含む)

対象機器	H29年度設計・平成30年度工事	H30年度設計・H31年度工事	H31年度設計・H32年度工事
排水ポンプ	長者町 2台(平成6年) 高島町 1台(平成11年) 弘明寺 2台(平成6年) 片倉町 1台(平成11年)	高島町 2台(平成11年) 舞岡 2台(平成7年) 北山田 2台(平成19年) 高田 2台(平成19年)	吉野橋第1 3台(平成7年) 吉野橋第2 3台(平成8年) 鶴見第1 2台(昭和59年) 鶴見第2 2台(昭和59年) あざみ野 2台(平成3年) 新横浜 2台(昭和59年)
給水ポンプ	-	上永谷 3台(平成10年)	新羽 2台(平成3年) 中川 1台
汚水ポンプ	あざみ野 2台(平成3年) 中川 2台(平成3年)	長者町第1 2台(平成6年) 吉野町 2台(平成6年) 蒔田 4台(平成7年)	北新横浜 2台(平成3年) 高島町 2台(平成11年)
中水ポンプ	上永谷検修区 2台(平成9年) 上永谷修繕工場 2台(平成16年)	舞岡 2台(昭和57年) 三ツ沢下町(平成14年) 下永谷 2台(平成13年)	川和車両基地 2台(平成19年)
攪拌機	桜木町 1台(平成19年) 蒔田 1台(平成19年)	港南中央 1台(平成19年) 高島町 1台(平成19年) 蒔田 1台(平成7年) 北新横浜 1台(平成3年)	
予算年度	H30年度	H31年度	H32年度
設計費		5,422	
工事費		63,261	
計		68,683	

※実績

※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

ポンプの劣化・故障状況により対象ポンプを見直し。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	3,398					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
31 変電所トイレ改修工事	

(1 事業目的・内容)

あざみ野線駅舎(平成5年3月)の職員用浴室には、給湯用電気温水器が設置されており、製造業者での修理部品は製造中止の状態です。また、湘南台線駅舎(平成11年8月)の給湯用電気温水器も劣化が非常に著しい状態で、故障が発生すれば修理不能な状況です。よって、順次更新工事を行います。また、変電所トイレ改修工事をあわせて行います。

駅名	設備名	平成30年度	平成31年度	平成32年度
センター南駅	電気温水器	工事		
北新横浜駅	電気温水器			
立場駅	電気温水器			
湘南台駅	電気温水器	設計		
下飯田駅	電気温水器			
岸根公園駅	電気温水器		設計	工事
片倉町駅	電気温水器			
上永谷変電所	トイレ改修	工事		
最戸変電所	トイレ改修			
蒔田変電所	トイレ改修			
笹下変電所	トイレ改修	設計	工事	
牛久保変電所	トイレ改修			
荇田変電所	トイレ改修		設計	工事
茅ヶ崎変電所	トイレ改修			
北の谷変電所	トイレ改修			
蒔田変電所	換気設備改修			
最戸変電所	換気改修			
設計費		469		
工事費		9,391		
計		9,860		



【電気温水器】



【変電所内トイレ】

※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	9,391					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
32 給湯設備その他更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

駅舎の職員用浴室には、給湯用電気温水器が設置されており、劣化状況が非常に著しい状態で、故障が発生すれば修理不能な状況です。また、変電所職員トイレ、換気送風機も同様に経年劣化がすすみ損傷が著しいため更新工事を実施するに際して実施設計を行います。

駅名	設備名	平成30年度	平成31年度	平成32年度
センター南駅	電気温水器	工事		
北新横浜駅	電気温水器			
立場駅	電気温水器			
湘南台駅	電気温水器	設計		
下飯田駅	電気温水器			
岸根公園駅	電気温水器		設計	工事
片倉町駅	電気温水器			
上永谷変電所	トイレ改修	工事		
最戸変電所	トイレ改修			
蒔田変電所	トイレ改修			
笹下変電所	トイレ改修	設計	工事	
牛久保変電所	トイレ改修			
荏田変電所	トイレ改修			
茅ヶ崎変電所	トイレ改修		設計	工事
北の谷変電所	トイレ改修			
蒔田変電所	換気設備改修			
最戸変電所	換気改修			
設計費		469		
工事費		9,391		
計		9,860		



【電気温水器】



【変電所内トイレ】

※予算

- (2 前年度から変更・見直した点)
変電所換気設備更新設計追加
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

(5 補助対象の有無)

有
 無

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	469					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
33 ずい道換気送風機更新工事	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去及び地下空間の環境維持、また列車火災の発生時には排煙設備として屋外に煙を排出するため設置されています。
本設備は昭和60年代に設置されたものであり、羽根車やケーシング・モーター等にサビが発生するなど経年劣化により老朽化しています。よって、ずい道排気送風機設備の更新に係る工事を行います。

対象場所	設置年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
沢渡中間換気所	昭和60年	工事		
花咲中間換気所	昭和60年	設計	工事	
片倉中間換気所	昭和60年		設計	工事
設計費		2,969		
工事費		59,362		
計		62,331		



【花咲中間換気所】



【換気送風機】

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	59,362					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
34 ずい道換気送風機更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

ずい道換気送風機は、ずい道内に滞留する列車排熱や粉じん等の除去及び地下空間の環境維持、また列車火災の発生時には排煙設備として屋外に煙を排出するため設置されています。

本設備は昭和60年代に設置されたものであり、羽根車やケーシング・モーター等にサビが発生するなど経年劣化により老朽化しています。よって、ずい道換気送風機設備の更新に係る実施設計を行います。

対象場所	設置年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
沢渡中間換気所	昭和60年	工事		
花咲中間換気所	昭和60年	設計	工事	
片倉中間換気所	昭和60年		設計	工事
設計費		2,969		
工事費		59,362		
計		62,331		



【換気送風機】

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	2,969					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
35 エアークフィルタ一更新工事	

(1 事業目的・内容)

各駅には、駅構内に外気を取り入れる際に不純物を取り除き、良好な構内環境を維持するためのエアフィルタ一設備が設置されております。当設備は設置されてから長期間が経過しており、各所で経年劣化による故障が多発しております。

現在は部分的な修理を行い対応している状況ですが、機能が低下しつつあり、駅構内の環境を良好に維持できなくなる可能性があるため、計画的にエアフィルタ一設備を更新し、良好な構内環境を維持します。

更新計画

駅名	設備名	平成30年度	平成31年度	平成32年度
立場駅	エアークフィルタ一	次年度工事に変更	工 事	
中田駅	エアークフィルタ一	次年度工事に変更	工 事	
戸塚駅	エアークフィルタ一	工 事		
舞岡駅	エアークフィルタ一	工 事		
下永谷	エアークフィルタ一	工 事		
岸根公園駅	エアークフィルタ一	次年度工事に変更	工 事	
踊場駅	エアークフィルタ一	設計		
伊勢佐木長者町駅	エアークフィルタ一		設計	
吉野町駅	エアークフィルタ一			
蒔田駅	エアークフィルタ一			
弘明寺駅	エアークフィルタ一			工 事
設計費		2,613		
工事費		52,232		
計		54,845		

※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	52,232					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建築課 担当者名：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
36 エアーフィルター更新工事(設計)	

(1 事業目的・内容)

各駅には、駅構内に外気を取り入れる際に不純物を取り除き、良好な構内環境を維持するためのエアーフィルター設備が設置されております。当設備は設置されてから長期間が経過しており、各所で経年劣化による故障が多発しております。現在は部分的な修理を行い対応している状況ですが、機能が低下しつつあり、駅構内の環境を良好に維持できなくなる可能性があるため、計画的にエアーフィルター設備を更新し、良好な構内環境を維持します。

更新計画

駅名	設備名	平成30年度	平成31年度	平成32年度
立場駅	エアー・フィルター	次年度工事に変更	工事	
中田駅	エアー・フィルター	次年度工事に変更	工事	
戸塚駅	エアー・フィルター	工事		
舞岡駅	エアー・フィルター	工事		
下永谷	エアー・フィルター	工事		
岸根公園駅	エアー・フィルター	次年度工事に変更	工事	
踊場駅	エアー・フィルター	設計		工事
伊勢佐木長者町駅	エアー・フィルター		設計	
吉野町駅	エアー・フィルター			
蒔田駅	エアー・フィルター			
弘明寺駅	エアー・フィルター			
設計費		2,613		
工事費		52,232		
計		54,845		

※予算

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 除却資産の有無)

有
 無

(5 補助対象の有無)

有
 無

(6 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	2,613					
債務負担設定						

平成31年度 建設改良費 事業計画書

予算科目	担 当
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建設改良課 担当者名：菊地、天野

(単位：千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予算額	844,000	1,023,896	△ 179,896

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
1 ブルーライン新横浜駅と相鉄・東急直通線との交差・接続に伴う費用負担工事	844,000

(1 事業目的・内容)

横浜市西部・神奈川県中部と東京都心部とを直結する神奈川東部方面線は、その整備を独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が行っております。そのうち、相鉄・東急直通線は市営地下鉄ブルーライン新横浜駅で交差する計画となっており、交差する範囲の設計及び工事は横浜市交通局が鉄道・運輸機構から受託するとともに、接続に伴う当局施設の改修等については鉄道・運輸機構の費用負担により工事を実施していくことで基本的に同意しています。

平成31年度は、昨年度から継続して、第5出入口移設工事を行います。また、接続に伴う駅改良工事も引き続き行っていきます。

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
■土木設計	換気室設計			改良設計		改良設計(1)		
工事	第5出入口工事		換気機械室工事				駅改良工事(2)	
■建築・設備設計				基本設計		実施設計(1)		
工事							駅改良工事(2)	

内訳

(1)設計

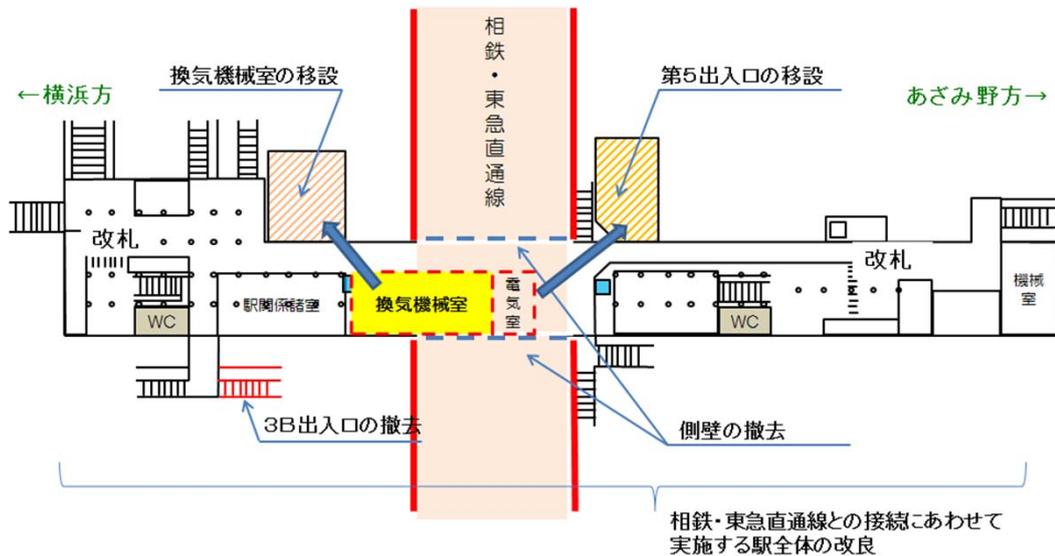
- ・ 交差・接続に伴う詳細設計その5 .. 22,000千円
駅改良に伴う開口補強設計、既設開口閉鎖設計、出入口3B撤去設計
- ・ 新横浜駅改良設計(その2) .. 40,000千円

(2)駅施設改良工事

- ・ 31年度工事内容…出入口3B撤去事前処置、仮設開口閉鎖、道路仮復旧【土木工事】
- ・ 31年度工事内容…電気室、換気機械室の移設工事【建築・設備工事】

(3)第5出入口の移設工事

- ・ 31年度工事内容…躯体工、仮設物撤去、道路仮復旧【土木工事】



平成31年度 建設改良費 事業計画書

予 算 科 目	担 当					
款：12 高速鉄道事業資本的支出 項：01 建設改良費 目：05 改良費	所属：建設改良課 担当者名：菊地、天野					
(2 前年度から変更・見直した点)						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等) ブルーライン新横浜駅と相鉄・東急直通線との交差・接続に伴う鉄道・運輸機構との基本協定 横浜市高速鉄道3号線新横浜駅と相鉄・東急直通線新横浜駅(仮称)との交差及び接続に伴う工事の施行に関する協定						
(4 除却資産の有無)			(5 補助対象の有無)			
<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
(6 年次表)						
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	1,023,896	844,000				
債務負担設定	1,246,000					
30年度債務負担設定(～32年度) 1,246,000 千円 【駅施設改良前期工事】						
31年度債務負担設定(～32年度) XXXXXXXXXX 【駅施設改良前期工事(その2)】						

平成31年度 総係費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 12 高速鉄道事業資本的支出 項: 01 建設改良費 目: 01 建設費	所属: 技術管理部、工務部各課 担当者名: 総務部 経営企画課

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	93,540	204,590	△ 111,050

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

細節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
40 修繕費	60	什器修理
49 備用品費	8,519	事務用品、現場作業用備品、書籍等
50 被服費	6,286	新規採用者、転入・異動者等への制服貸与
51 光熱水費	182	新横浜工事事務所光熱費
56 旅費	10,250	市内・市外出張旅費、検査出張旅費、地下鉄技術協議会出張旅費
57 通信運搬費	156	新横浜工事事務所電話代、切手代等
58 印刷製本費	802	大判印刷、図面印刷等
60 負担金	6,720	協議会等年会費、土木積算システム負担金等
61 会議費	13	会議飲料代
63 委託料	31,689	測定機器校正、メール便、新横浜工事事務所清掃等
64 手数料	3,919	鉄道設計技士試験受験料、各種技能講習会受講料等
65 賃借料	4,536	営繕積算システム利用料、会議室利用料、新横浜工事事務所賃料
66 諸謝金	64	学識経験者意見聴取諸謝金、ST線検討会諸謝金
68 保険料	24	新横浜工事事務所保険料
96 雑費	20,320	タクシー借上げ代、沿道補償費
合 計	93,540	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)